

令和4年度 神戸市内地域組織基礎調査

婦人会

調査結果報告書

令和5年3月

神戸市

【目次】

(1) 調査概要	1
① 調査の目的.....	1
② 調査対象.....	1
③ 調査方法等.....	1
④ 調査の対象と回収状況	1
⑤ 調査結果の表示方法	2
(2) 団体の活動	3
① 会員数（問2）	3
② 会員の年齢の特徴（問3）	3
③ 令和元年度以降の新規会員の有無（問4）	4
④ 令和元年度以降の新規会員数（問4）	4
⑤ 会員募集の取り組みで効果的だったアイデア（問4）	5
⑥ 主な収入源（問5）	5
⑦ 年会費（問6）	6
⑧ 直近年度の決算の収入額（問7）	6
⑨ 団体の活動頻度（問8）	7
⑩ 実施している活動（問9）	8
⑪ 今後特に力を入れたい活動（問9）	9
(3) 利用施設と集まりの開催状況	10
① 定期的に利用している施設（問11）	10
② 集まりの状況（主な利用対象者と開催頻度）（問11）	10
(4) デジタル技術の活用	11
① デジタル技術の活用状況と今後の活用意向（問13）	11
② デジタル技術活用のために市に求める支援（問14）	12
③ デジタル技術活用のために参加したい講習会（問15）	12
(5) 他団体との連携	13
① 他団体との連携の状況（問17）	13
② 他団体との連携した取組事例（問18）	14
③ 他団体との連携連携して実現したいこと（アイデア）（問19）	14
(6) 活動を進めていくための課題	15
① コロナ禍での活動で苦労していること（問12）	15
② 活動を進めていくための課題（人材面）（問16①）	16
③ 活動を進めていくための課題（運営面）（問16②）.....	16
④ 活動への住民の参加状況の課題（問16③）	17
(7) 団体が活動している地域の状況等	17
① 住民の居住年数の特徴（問21①）	17
② 住民同士の交流の状況（問21②）	18

③ 住民による地域活動の活発さの状況（問22）	18
④ 活発になっている理由（問23）	19
⑤ 以前に比べて活発でなくなった理由（問24）	20
⑥ 活動している地域の課題（問25）	21
⑦ 課題解決のために今後力を入れて取り組むことが必要なこと（問26）	22
(8) 今後の活動に向けて	23
① 活動の現状についての満足度（問27）	23
② 団体が担う役割の今後についての考え（問28）	23
③ 今後の活動の方向性（問10）	24
④ 団体の活動を活発にしていくために必要なこと（問29）	25
⑤ 市に相談したいことや支援を希望すること（問31）	26
(9) 代表の活動状況	27
① 代表（回答者）の状況（問42）	27
② 代表の選出方法（問33）	29
③ 代表の任期や定年の定め（問34）	29
④ 代表になってからの年数（問35）	30
⑤ 地域活動のための月間活動日数（問39）	30
⑥ 地域活動の担い手として参加したきっかけ（問37）	31
⑦ 地域活動に参加してよかったこと（問38）	31
⑧ 会長として特に感じる負担（問40）	32
⑨ 次期代表の確保の見通し（問36）	32
⑩ 団体の今後のあり方についての考え（問41）	33
(10) 自由意見.....	34
① 運営での工夫（問30）、日頃の婦人会活動を通じて感じている課題（問32）	34
② コロナ禍において新たに取り組んだこと（問30）	35
③ その他	35

(資料) 調査票

(1) 調査概要

① 調査の目的

神戸市では、おおむね3年ごとに、市内で活動されている地域組織のみなさまの活動実態及び課題などを把握するためアンケート調査を実施している。

前回の調査（令和元年度）以降、新型コロナウイルス感染症の流行に伴い、対面での活動が制限されたり、感染防止対策が必要となるなど、地域活動の実施にあたっては様々な工夫をされるとともに、様々な地域課題への対応や、デジタル技術の活用等、新たな取組にもチャレンジされていると考えられる。そこで、地域組織の活動に携わっている市民の取り組みや感じていることを把握し、今後の施策に活用する。

② 調査対象

下記の団体を対象とする。

	概要	備考
婦人会	小学校区を単位として組織され、会員としての自覚と誇りを持ち、常に自己研鑽に努めながら、住み良い地域づくりを目指し活動を続けている。これまでの活動の積み重ねにより培った地域との関係や経験を若い世代に繋げ、地域活動の担い手を育成するとともに、子育て世帯を応援し、一緒になって様々な課題に取り組んでいる。	全ての団体を調査対象とした。

③ 調査方法等

調査方法	調査対象団体の代表者に調査票を郵送配付し、郵送で回収した。
調査期間	令和4年10月11日（火）～11月11日（金）

④ 調査の対象と回収状況

	発送数	未着数	有効発送数	有効回収数	回収率
全市	92	0	92	67	72.8%
東灘区	8	0	8	7	87.5%
灘区	11	0	11	7	63.6%
中央区	15	0	15	10	66.7%
兵庫区	7	0	7	4	57.1%
北区	18	0	18	14	77.8%
長田区	12	0	12	11	91.7%
須磨区	4	0	4	3	75.0%
垂水区	12	0	12	7	58.3%
西区	5	0	5	4	80.0%

⑤ 調査結果の表示方法

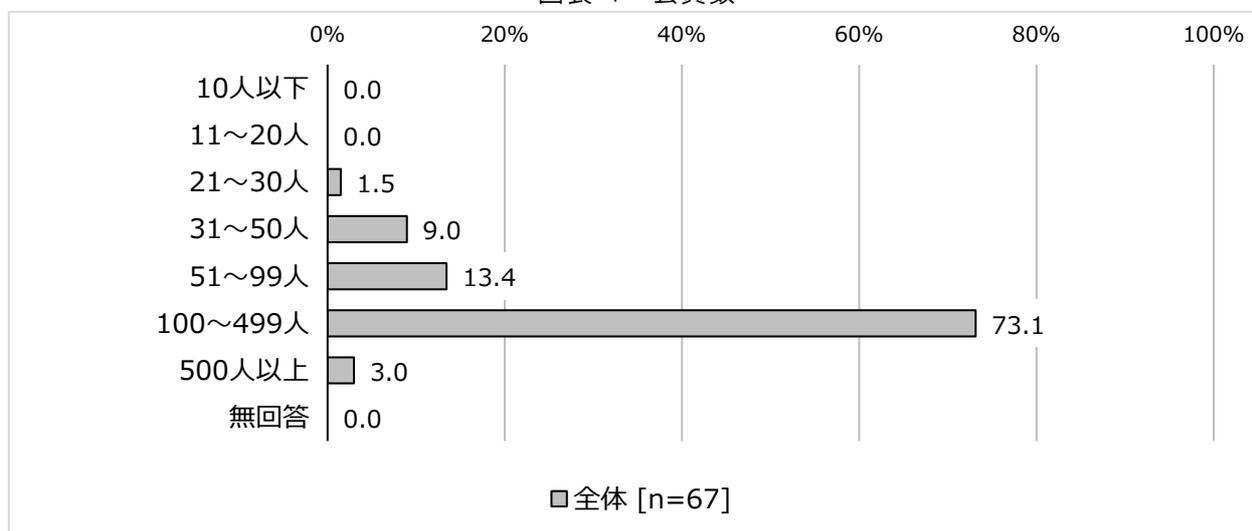
- ・比率は、小数点第2位を四捨五入し、小数点第1位までの百分率（%）で表しています。このため、合計が100%にならない場合もあります。
- ・各設問のサンプルサイズは、“n=●”として記載しています。
- ・〔複数回答〕とある設問は、2つ以上の選択肢を回答することが可能な設問です。このため、各回答の合計比率が100%を超える場合があります。

(2) 団体の活動

① 会員数（問2）

会員数は、「100～499人」が73.1%と最も多く、次いで「51～99人」が13.4%、「31～50人」が9.0%などとなっている。

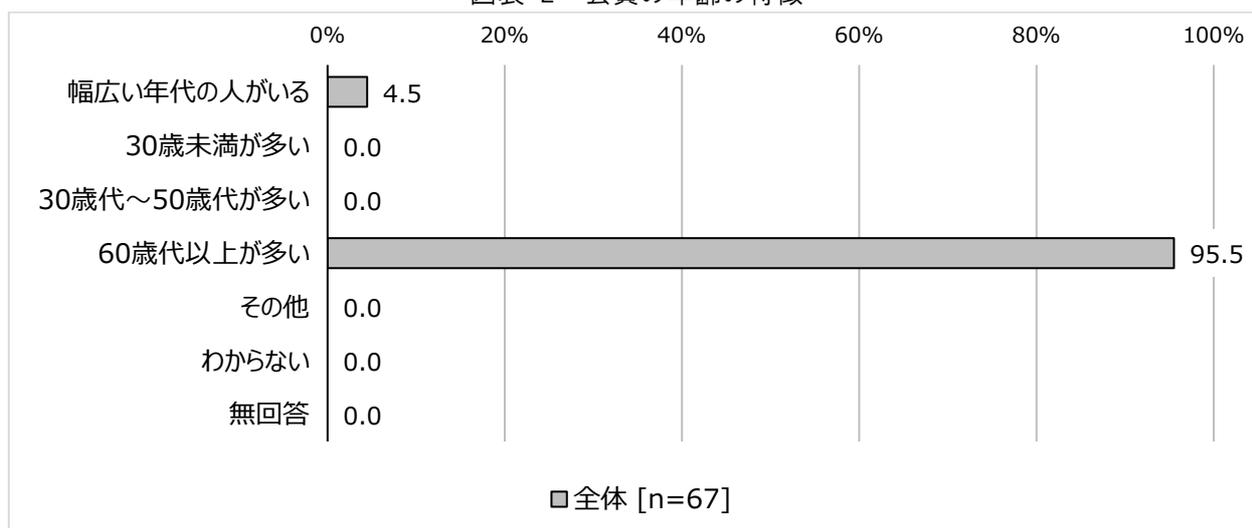
図表 1 会員数



② 会員の年齢の特徴（問3）

会員の年齢の特徴は、「60歳代以上が多い」が95.5%と最も多く、次いで「幅広い年代の人がいる」が4.5%となっている。

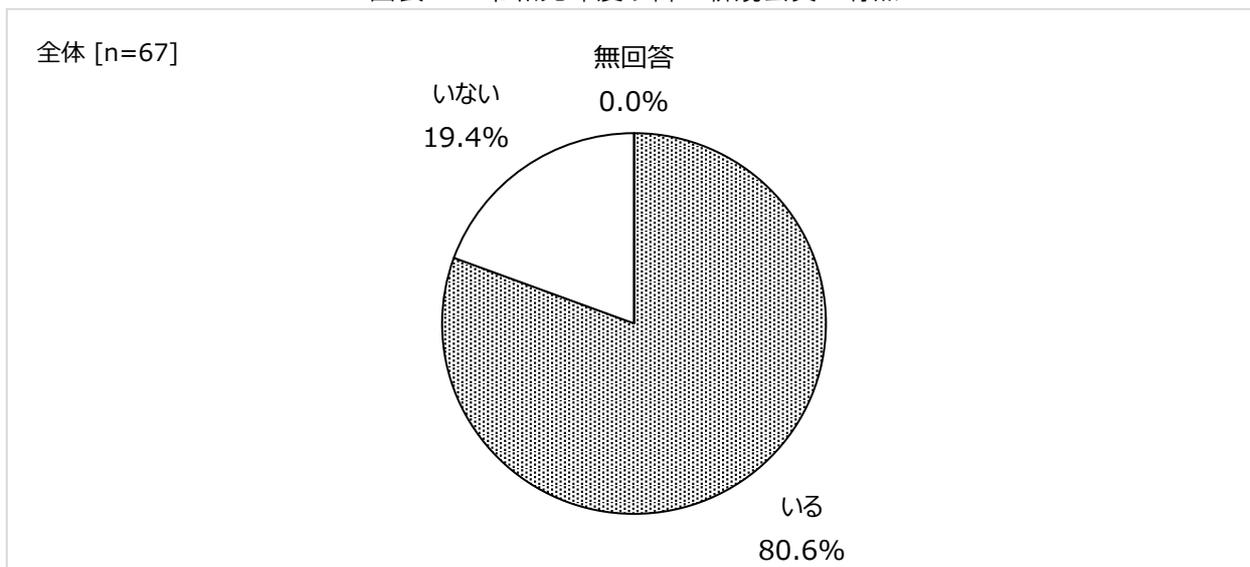
図表 2 会員の年齢の特徴



③ 令和元年度以降の新規会員の有無（問4）

令和元年度以降の新規会員の有無は、「いる」が80.6%、「いない」が19.4%となっている。

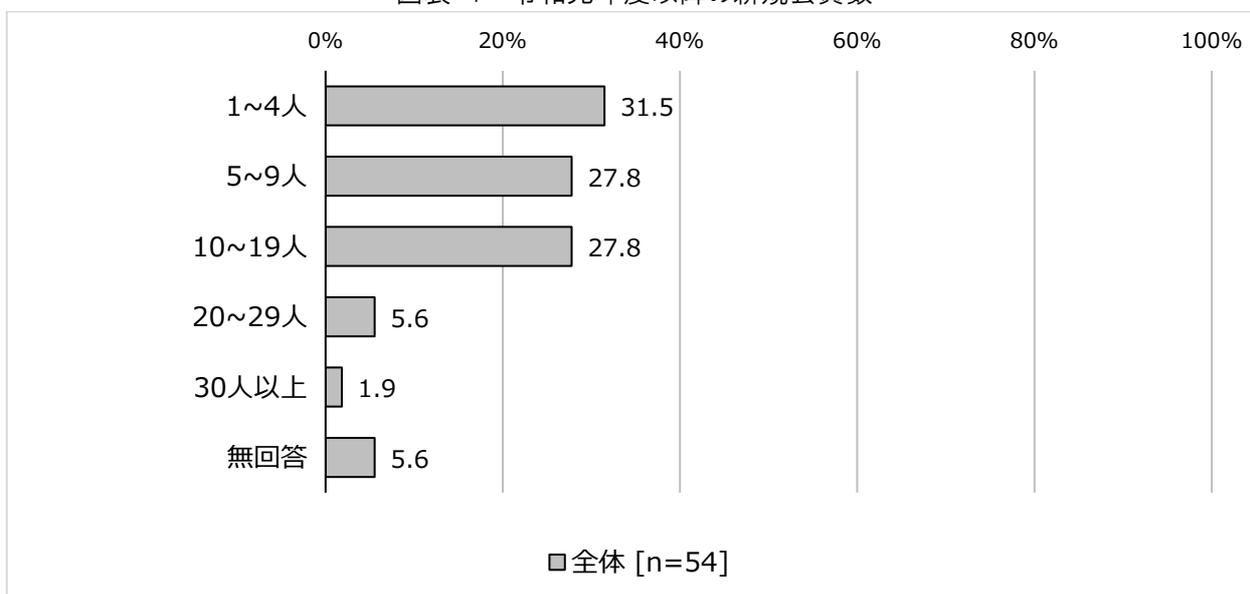
図表 3 令和元年度以降の新規会員の有無



④ 令和元年度以降の新規会員数（問4）

令和元年度以降の新規会員数は、「1~4人」が31.5%と最も多く、次いで「5~9人」と「10~19人」が27.8%などとなっている。

図表 4 令和元年度以降の新規会員数



⑤ 会員募集の取り組みで効果的だったアイデア（問4）

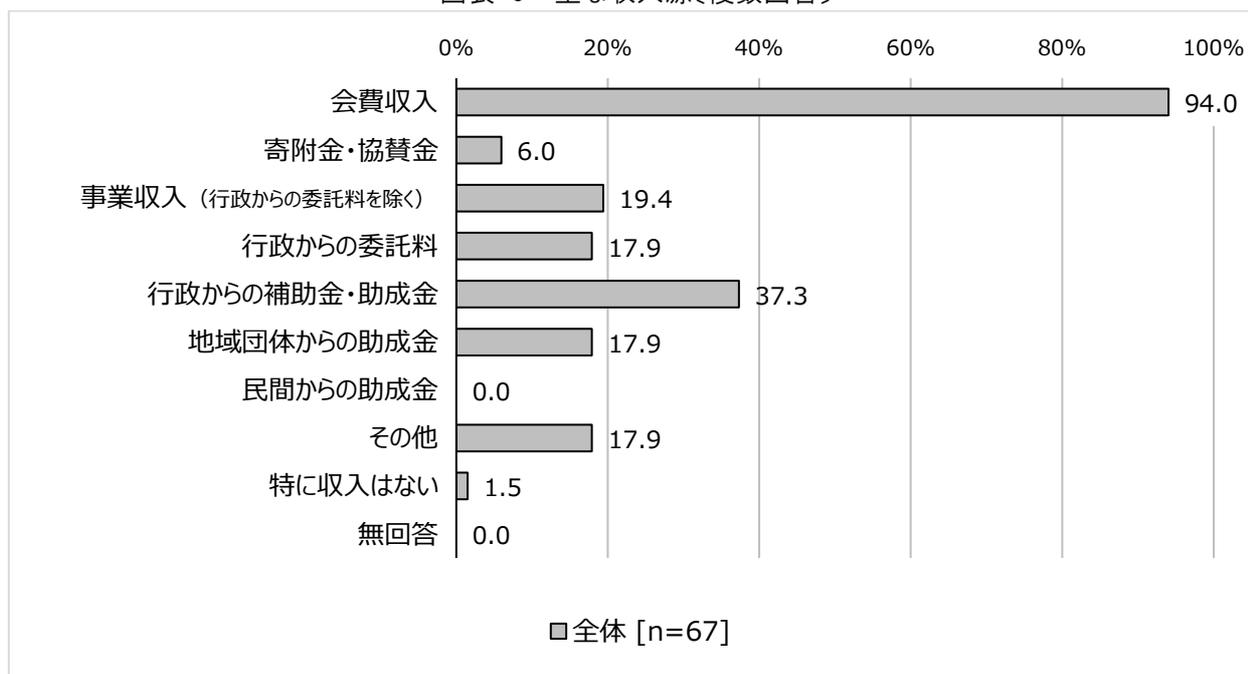
図表 5 会員募集の取り組みで効果的だったアイデア

	主なアイデア（例）
会員募集の広報活動	<ul style="list-style-type: none"> ・広報誌を毎月全戸配布する。 ・会員募集のチラシを配布（ポスティング）する。 ・広報配布員を増員する。
口コミ	<ul style="list-style-type: none"> ・入居された方に声かけをする。 ・婦人会主催の食事会等が楽しいことを話す。
クラブ活動	<ul style="list-style-type: none"> ・クラブ活動への参加を呼びかける。 ・コーラス民謡など文化活動をアピールする。 ・新しいクラブを作ったところ、入部したいために会員になられた。
きっかけをつくる	<ul style="list-style-type: none"> ・イベントの手伝いをお願いする。 ・地域活動を一緒に経験する。

⑥ 主な収入源（問5）

主な収入源は、「会費収入」が94.0%と最も多く、次いで「行政からの補助金・助成金」が37.3%、「事業収入（行政からの委託料を除く）」が19.4%などとなっている。

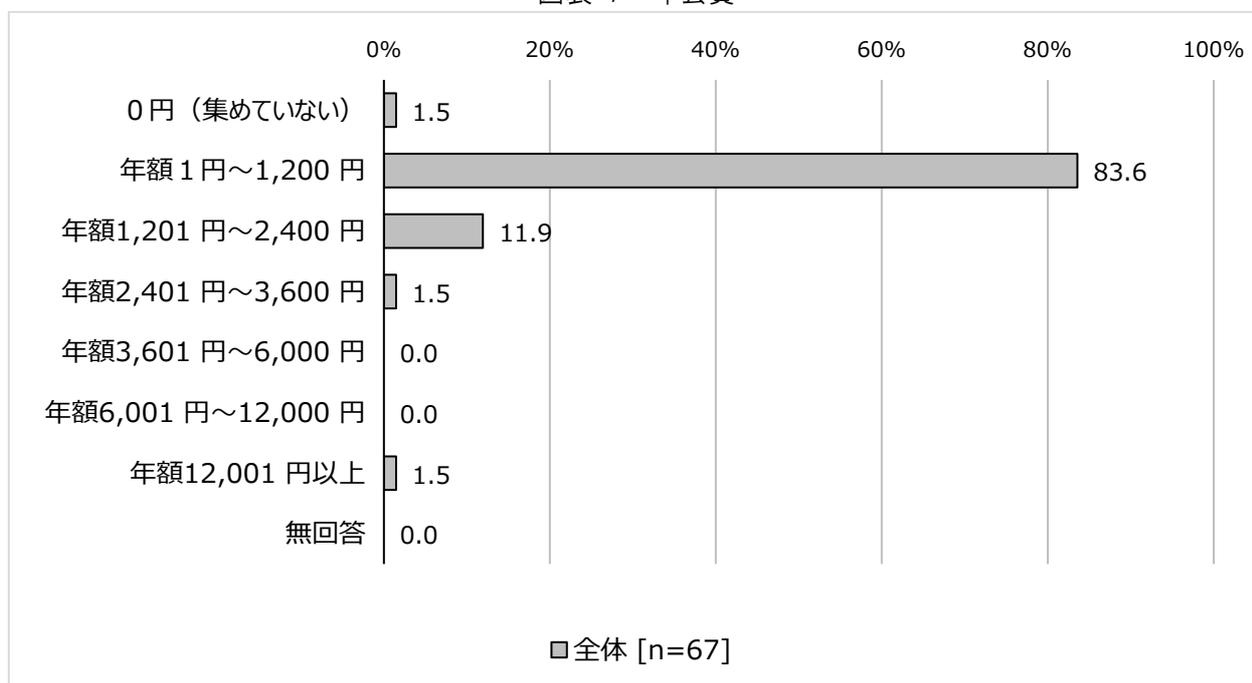
図表 6 主な収入源〔複数回答〕



⑦ 年会費（問6）

年会費は、「年額1円～1,200円」が83.6%と最も多く、次いで「年額1,201円～2,400円」が11.9%などとなっている。

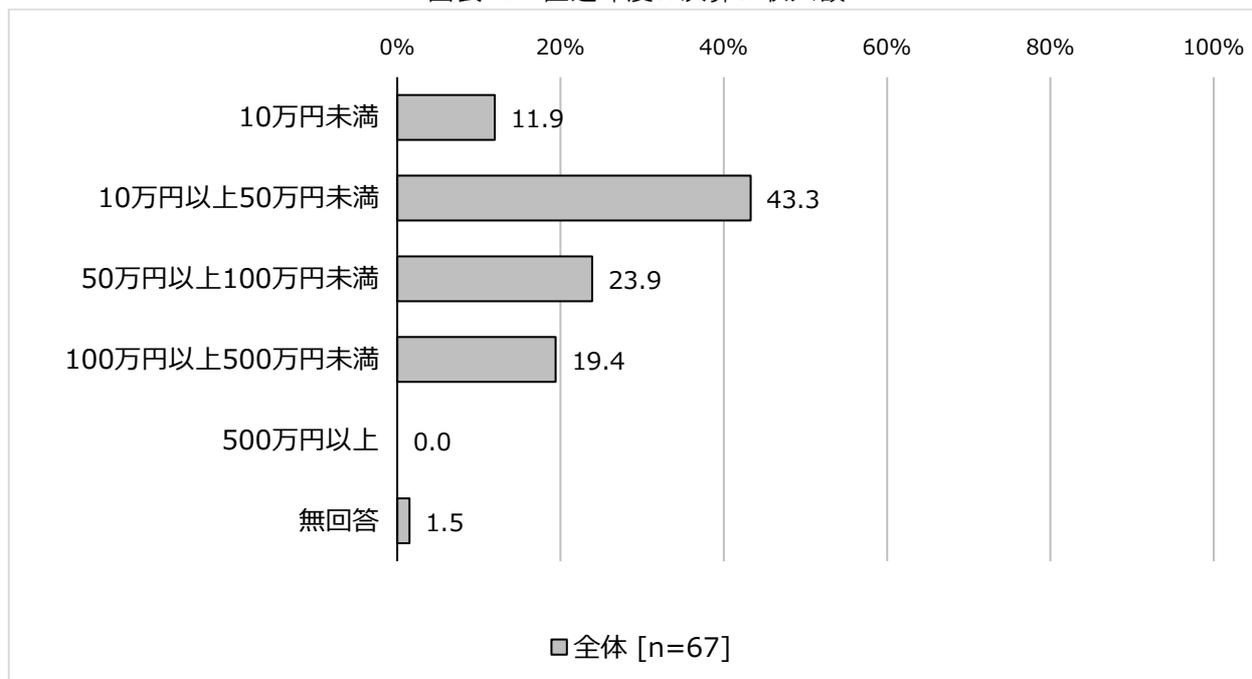
図表 7 年会費



⑧ 直近年度の決算の収入額（問7）

直近年度の決算の収入額は、「10万円以上50万円未満」が43.3%と最も多く、次いで「50万円以上100万円未満」が23.9%、「100万円以上500万円未満」が19.4%などとなっている。

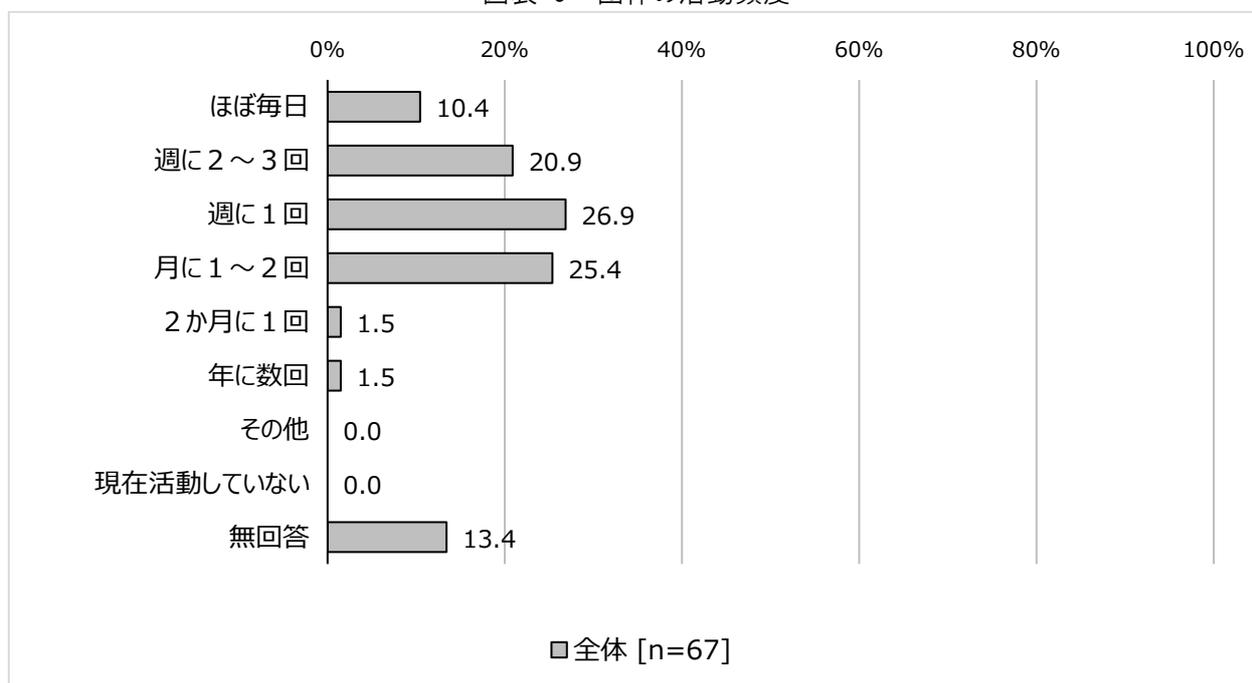
図表 8 直近年度の決算の収入額



⑨ 団体の活動頻度（問8）

団体の活動頻度は、「週に1回」が26.9%と最も多く、次いで「月に1～2回」が25.4%、「週に2～3回」が20.9%などとなっている。

図表 9 団体の活動頻度

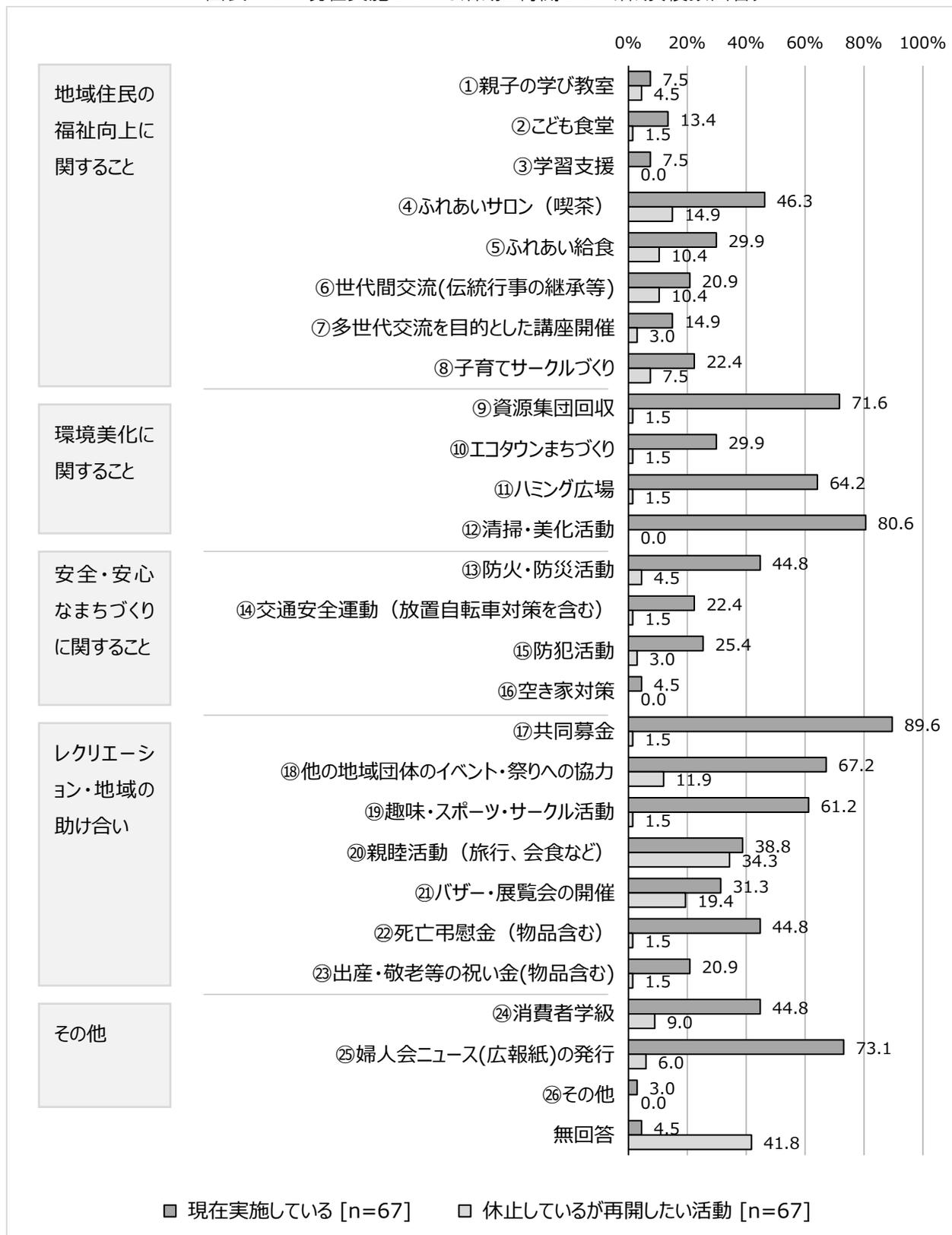


⑩ 実施している活動（問9）

現在実施している活動は、「⑰共同募金」が89.6%と最も多く、次いで「⑫清掃・美化活動」が80.6%、「⑮婦人会ニュース(広報紙)の発行」が73.1%などとなっている。

休止しているが再開したい活動は、「⑳親睦活動（旅行、会食など）」が34.3%と最も多く、次いで「㉑バザー・展覧会の開催」が19.4%、「④ふれあいサロン（喫茶）」が14.9%などとなっている。

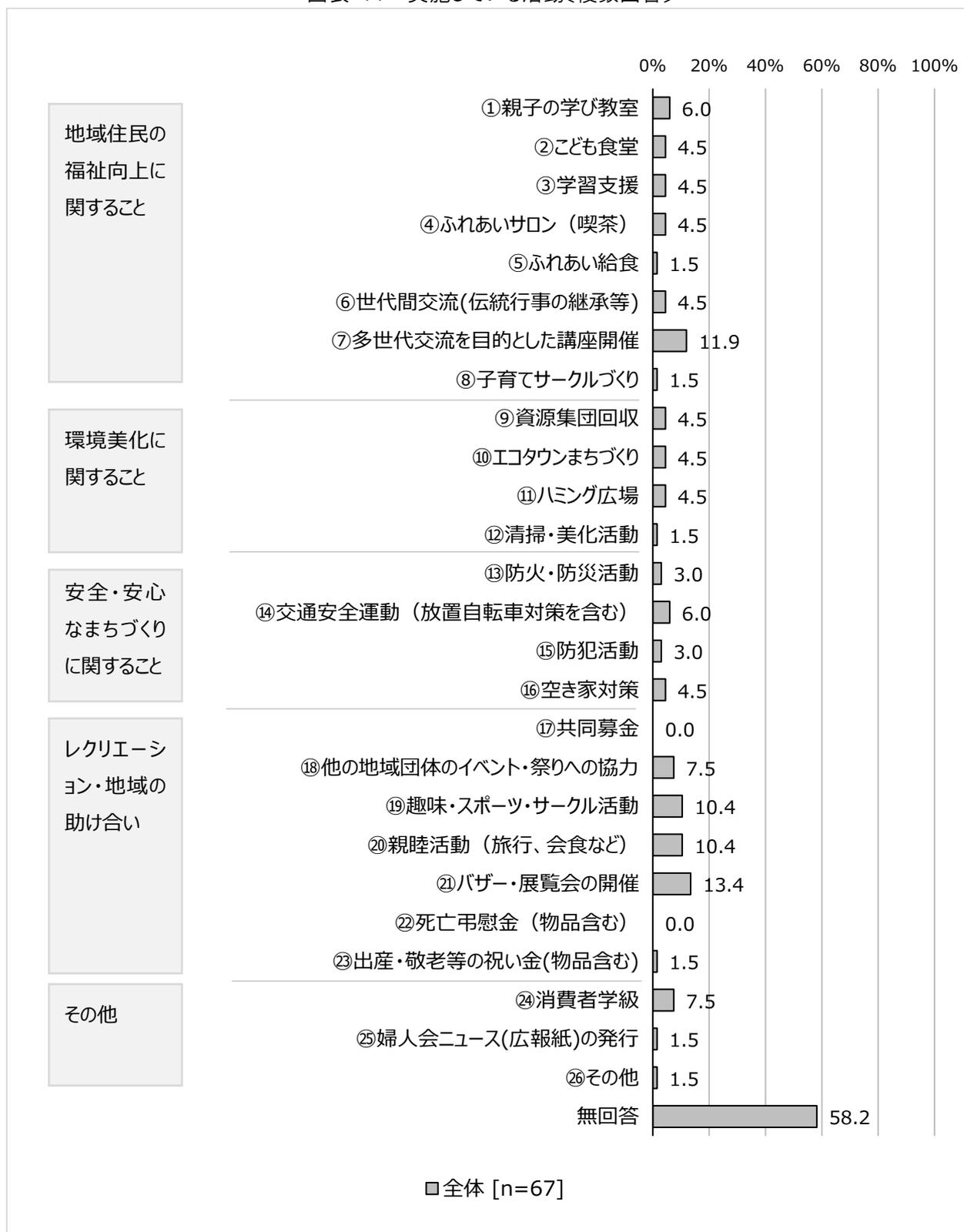
図表 10 現在実施している活動と再開したい活動〔複数回答〕



⑪ 今後特に力を入れたい活動（問9）

今後特に力を入れたい活動は、「②④バザー・展覧会の開催」が13.4%と最も多く、次いで「⑦多世代交流を目的とした講座開催」が11.9%、「①⑨趣味・スポーツ・サークル活動」と「②⑩親睦活動（旅行、会食など）」が10.4%などとなっている。

図表 11 実施している活動〔複数回答〕



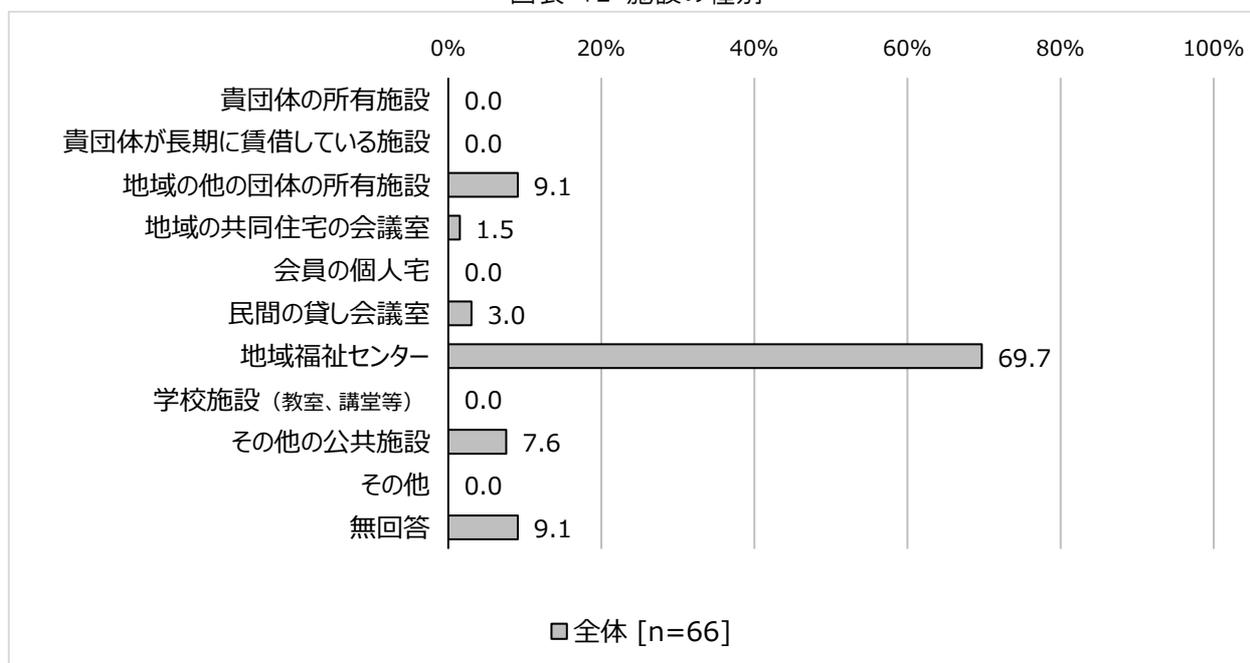
(3) 利用施設と集まりの開催状況

① 定期的に利用している施設（問 11）

婦人会が定期的に利用している施設として66施設の回答があった。

施設の種別は、「地域福祉センター」が69.7%と最も多くなっている。

図表 12 施設の種別



② 集まりの状況（主な利用対象者と開催頻度）（問 11）

定期的に開催している集まりとして138件の回答があった。

主な利用対象者は、「どなたでも」が69件と最も多く、月1回の開催の集まりが多くなっている。次いで、「高齢者」を対象とする集まりが29件で、月1回の開催の集まりが多くなっている。

図表 13 集まりの状況(主な利用対象者と開催頻度)

主な利用対象	合計	開催頻度 (月当たりの開催日数)						
		月1回未満	月1回	月2回	月3回	月4回	月5回以上	無回答
合計 [n=138]	138	2	56	30	4	30	1	15
	100.0	1.4	40.6	21.7	2.9	21.7	0.7	10.9
どなたでも [n=69]	69	2	27	14	1	13	1	11
	100.0	2.9	39.1	20.3	1.4	18.8	1.4	15.9
子ども [n=4]	4	0	1	0	1	2	0	0
	100.0	0.0	25.0	0.0	25.0	50.0	0.0	0.0
親子 [n=11]	11	0	5	3	0	2	0	1
	100.0	0.0	45.5	27.3	0.0	18.2	0.0	9.1
高齢者 [n=29]	29	0	14	2	0	10	0	3
	100.0	0.0	48.3	6.9	0.0	34.5	0.0	10.3
その他 [n=18]	18	0	5	11	2	0	0	0
	100.0	0.0	27.8	61.1	11.1	0.0	0.0	0.0
無回答[n=7]	7	0	4	0	0	3	0	0
	100.0	0.0	57.1	0.0	0.0	42.9	0.0	0.0

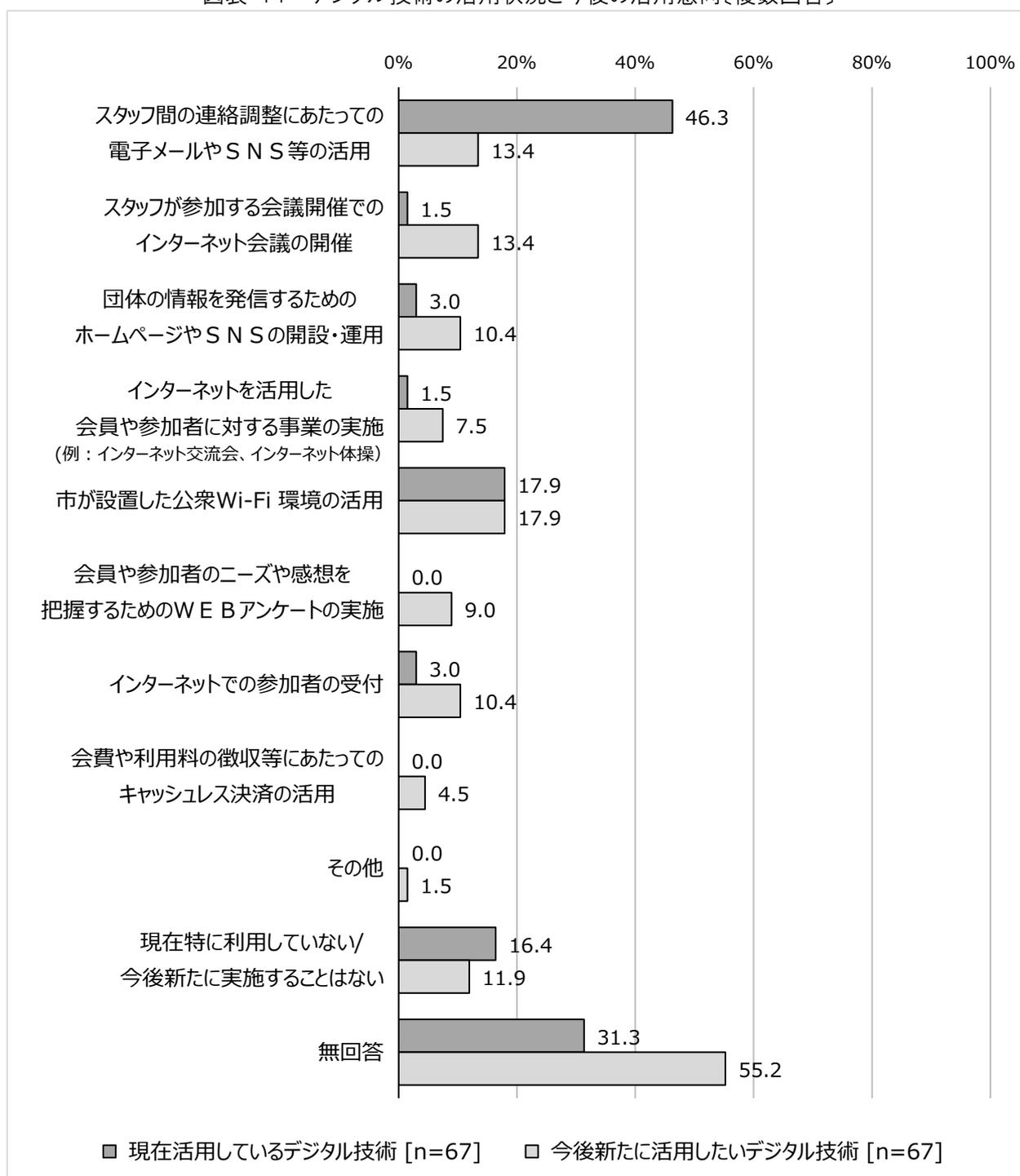
(4) デジタル技術の活用

① デジタル技術の活用状況と今後の活用意向（問 13）

現在活用しているデジタル技術は、「スタッフ間の連絡調整にあたっての電子メールやSNS等の活用」が46.3%と最も多く、次いで「市が設置した公衆Wi-Fi 環境の活用」が17.9%、「現在特に利用していない」が16.4%などとなっている。

今後新たに活用したいデジタル技術は、「市が設置した公衆Wi-Fi 環境の活用」が17.9%と最も多く、次いで「スタッフ間の連絡調整にあたっての電子メールやSNS等の活用」と「スタッフが参加する会議開催でのインターネット会議の開催」が13.4%などとなっている。

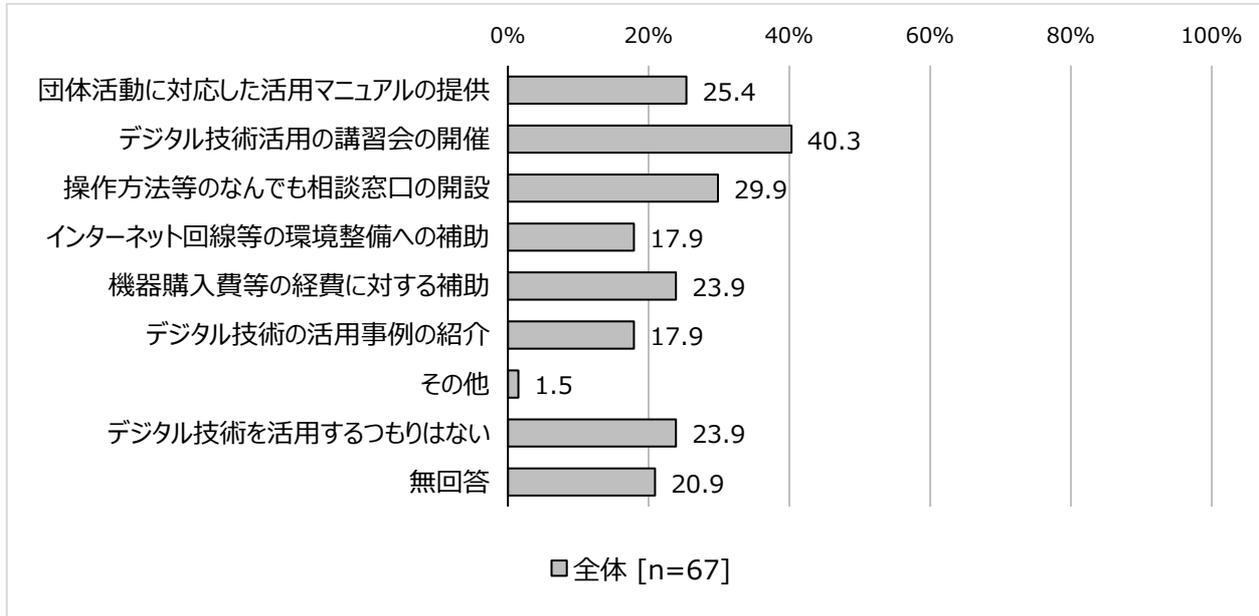
図表 14 デジタル技術の活用状況と今後の活用意向〔複数回答〕



② デジタル技術活用のために市に求める支援（問 14）

デジタル技術活用のために市に求める支援は、「デジタル技術活用の講習会の開催」が40.3%と最も多く、次いで「操作方法等のなんでも相談窓口の開設」が29.9%、「団体活動に対応した活用マニュアルの提供」が25.4%などとなっている。

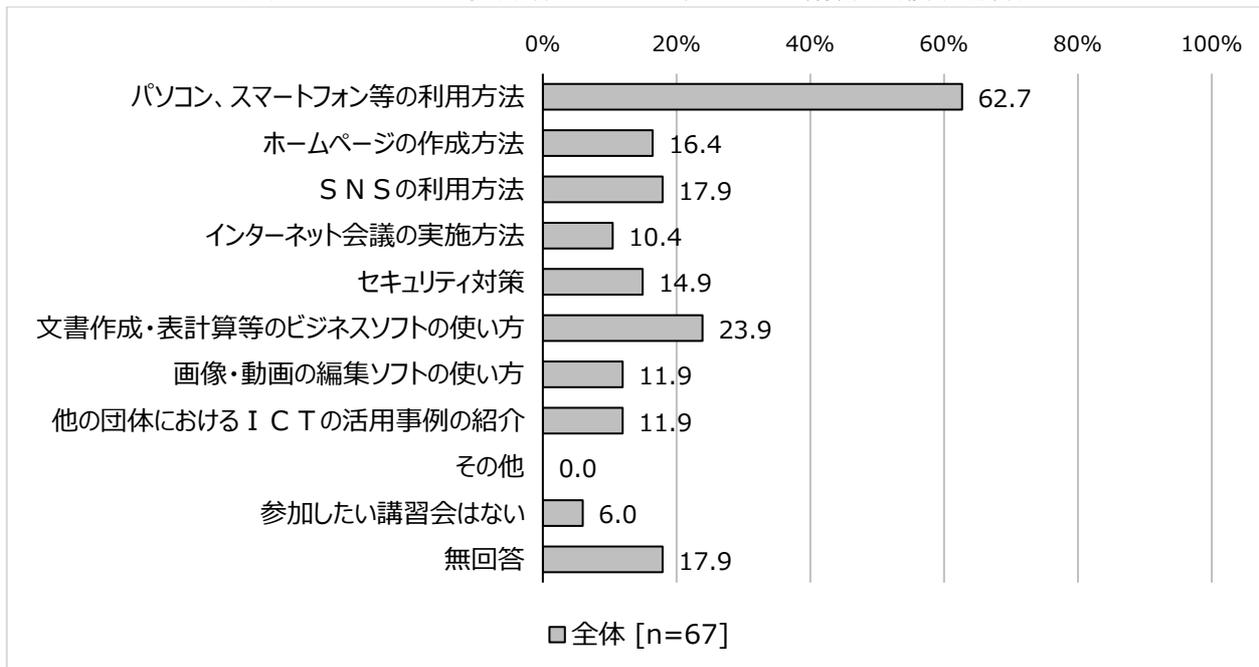
図表 15 デジタル技術活用のために市に求める支援〔複数回答〕



③ デジタル技術活用のために参加したい講習会（問 15）

デジタル技術活用のために参加したい講習会は、「パソコン、スマートフォン等の利用方法」が62.7%と最も多く、次いで「文書作成・表計算等のビジネスソフトの使い方」が23.9%、「SNSの利用方法」が17.9%などとなっている。

図表 16 デジタル技術活用のために参加したい講習会〔複数回答〕



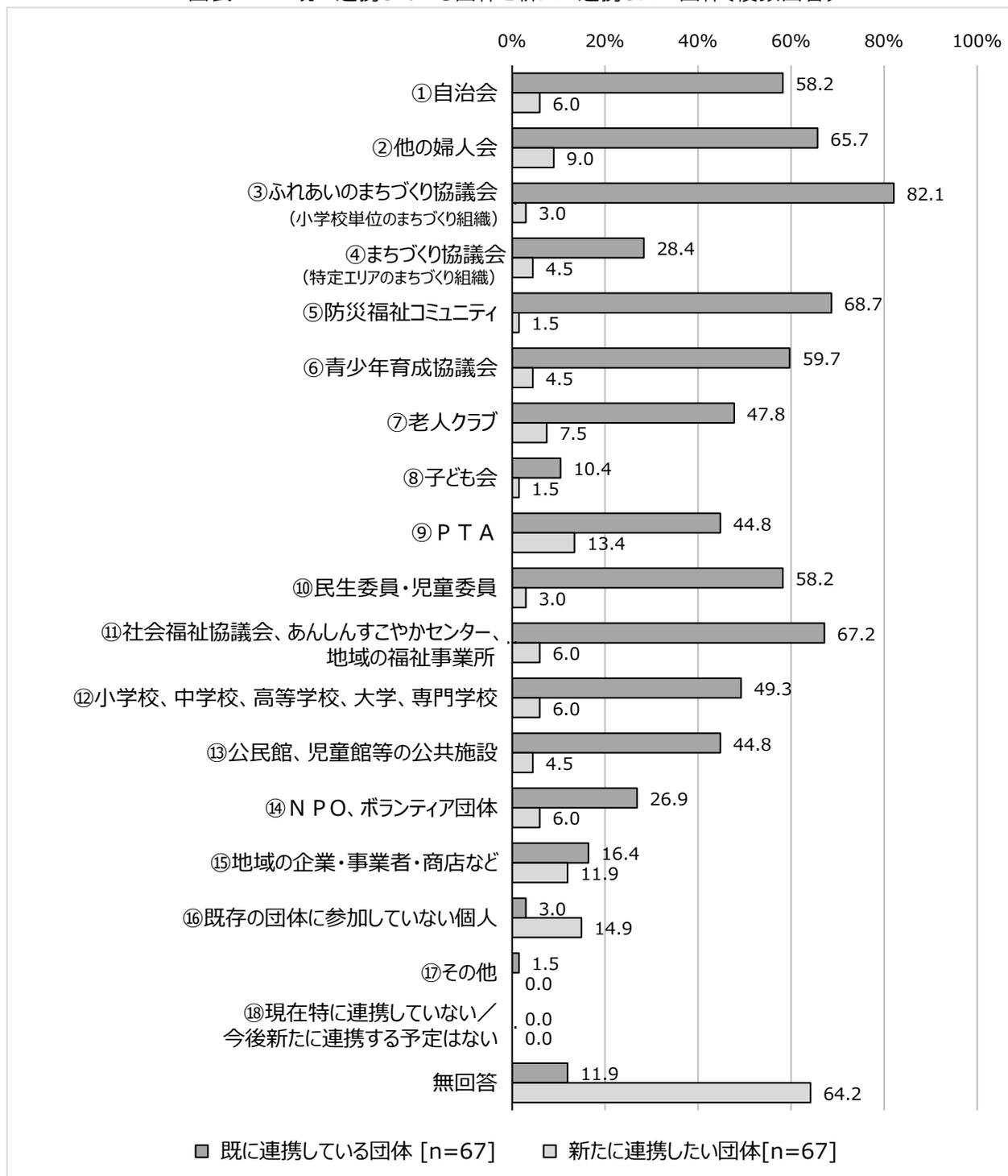
(5) 他団体との連携

① 他団体との連携の状況（問 17）

既に連携している団体は、「③ふれあいまちづくり協議会（小学校単位のまちづくり組織）」が82.1%と最も多く、次いで「⑤防災福祉コミュニティ」が68.7%、「⑪社会福祉協議会、あんしんすこやかセンター、地域の福祉事業所」が67.2%などとなっている。

新たに連携したい団体は、「⑯既存の団体に参加していない個人」が14.9%と最も多く、次いで「⑨PTA」が13.4%、「⑮地域の企業・事業者・商店など」が11.9%などとなっている。

図表 17 既に連携している団体と新たに連携したい団体〔複数回答〕



②他団体との連携した取組事例（問 18）

他団体と連携した取組として、次のような取組事例があげられた。

図表 18 他団体と連携した取組事例

連携先	連携内容（例）
自治会	夏まつり、地藏盆、盆踊り、運動会、文化祭、もちつき
他の婦人会	講和、駅前清掃、トライやるウィーク
ふれまち協	盆踊り、夏祭り、敬老会、文化祭、もちつき、ふれあい喫茶、子育てサークル
防災福祉コミュニティ	防災訓練での炊出し訓練
青少年育成協議会	子どもの居場所の食事作り、ハロウィン・ラジオ体操でお菓子を配布
老人クラブ	三世代の祭り、花壇づくり、グランドゴルフ、カラオケ喫茶
子ども会	ハロウィンで子どもにお菓子を配布、夏休みの工作づくり
P T A	小学校でのイベントに協力、登下校時の見守り活動
民生・児童委員	三世代の祭り、ふれあい給食会
社協、福祉施設等	募金活動、ふれあい食事会、慰問（踊り）
学校	家庭科（ミシン）の授業補助、まち探検、昔遊びをする会、清掃活動、公園清掃
公民館、児童館等	児童とのスポーツ・イベント参加、イベントの手伝い
N P O等	N P Oの行事への協力

③ 他団体との連携連携して実現したいこと（アイデア）（問 19）

他団体と今後連携して実現したいこと（アイデア）として次のような回答があげられた。

図表 19 他団体と連携して実現したいこと(アイデア)

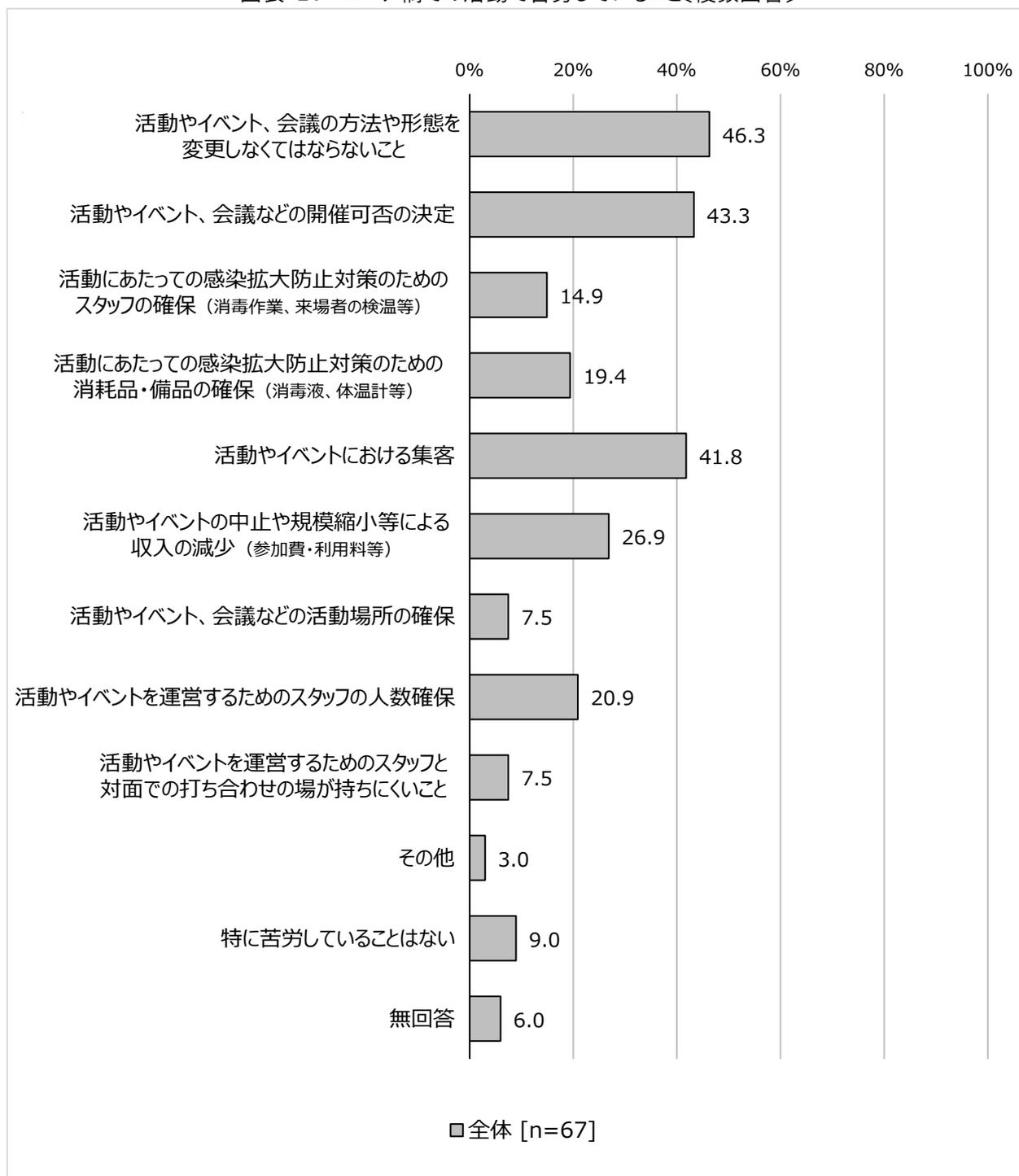
連携したい相手	連携して実現したいこと（アイデア）（例）
自治会	100円喫茶への招待、雑談の場づくり、ごみ出しボランティア
他の婦人会	ふれあい給食会、スポーツ大会、小学校区全体でのエコタウン事業、研修
ふれまち協	秋まつり、子ども食堂、子育てサークル、ふれあい喫茶、文化祭、運動会、炊き出し
防災福祉コミュニティ	防災訓練
青少年育成協議会	子どもの居場所の食事作り、子どもパトロール
老人クラブ	ごみ出しボランティア、合同で知識を得ること
民生・児童委員	クリスマス会
社協、福祉施設等	お楽しみ会、新一年生を祝う会、お茶会
N P O等	デイサービス、子ども食堂、バザー
商店街	夏まつり、ハロウィン

(6) 活動を進めていくための課題

① コロナ禍での活動で苦労していること（問 12）

コロナ禍での活動で苦労していることは、「活動やイベント、会議の方法や形態を変更しなくてはならないこと」が46.3%と最も多く、次いで「活動やイベント、会議などの開催可否の決定」が43.3%、「活動やイベントにおける集客」が41.8%などとなっている。

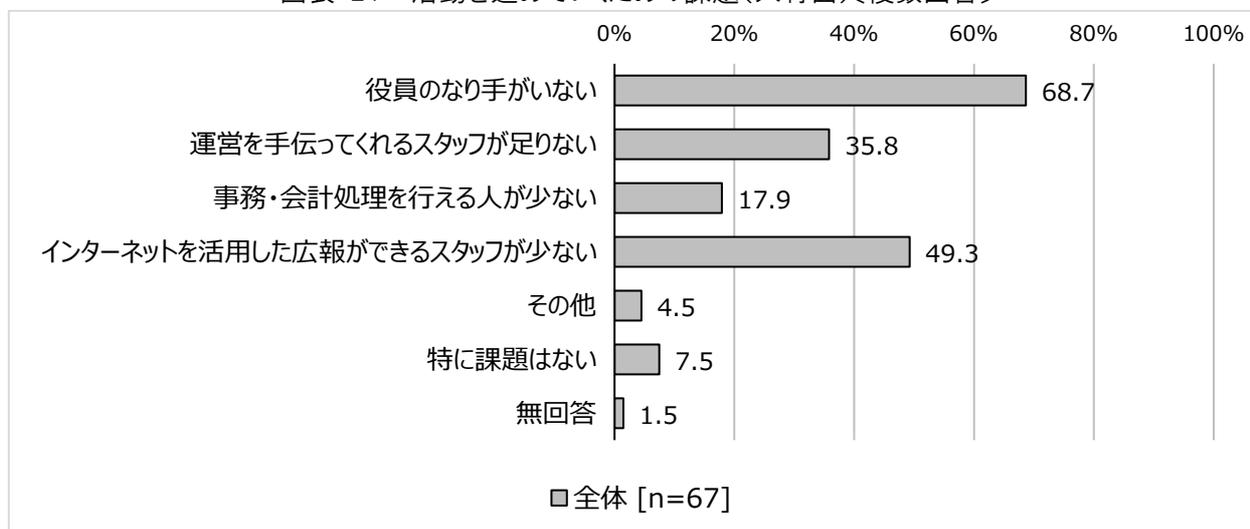
図表 20 コロナ禍での活動で苦労していること〔複数回答〕



②活動を進めていくための課題（人材面）（問 16①）

活動を進めていくための課題（人材面）は、「役員のなり手がいない」が68.7%と最も多く、次いで「インターネットを活用した広報ができるスタッフが少ない」が49.3%、「運営を手伝ってくれるスタッフが足りない」が35.8%などとなっている。

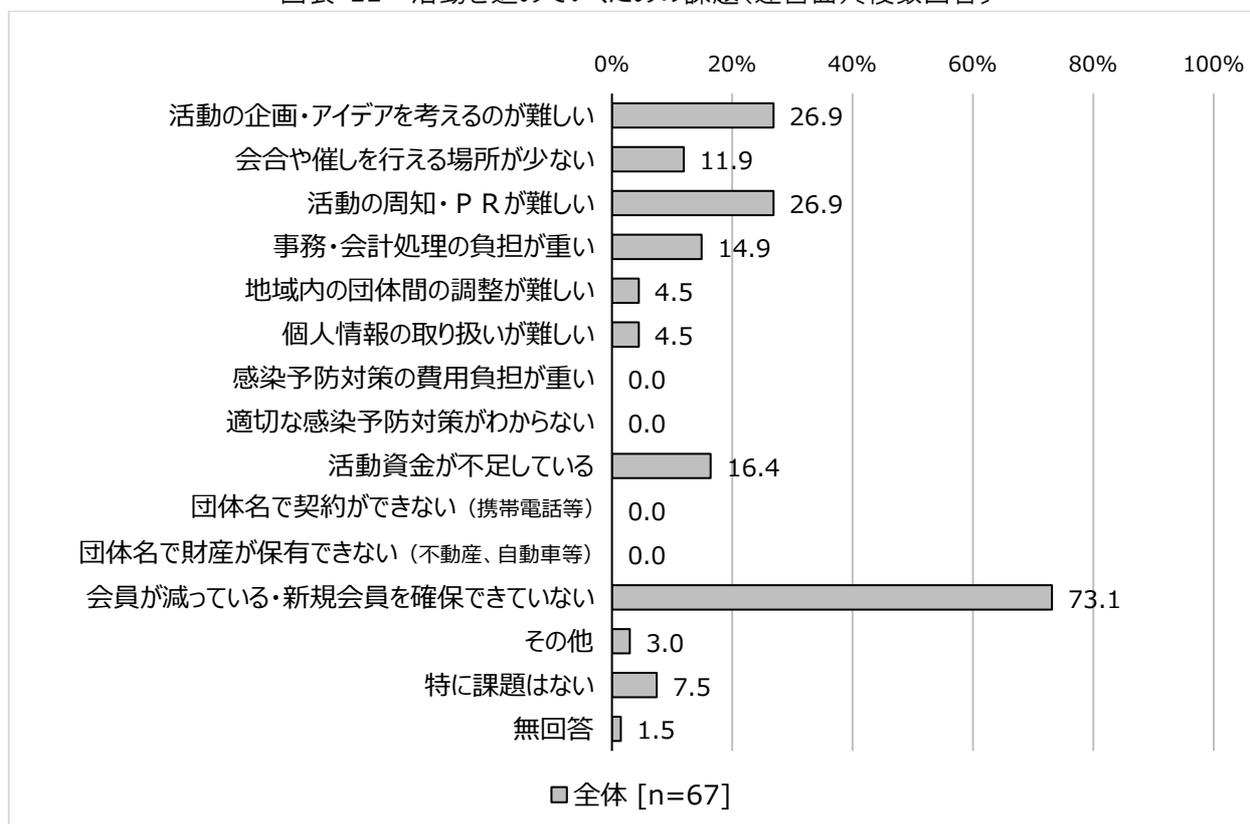
図表 21 活動を進めていくための課題（人材面）〔複数回答〕



③活動を進めていくための課題（運営面）（問 16②）

活動を進めていくための課題（運営面）は、「会員が減っている・新規会員を確保できていない」が73.1%と最も多く、次いで「活動の企画・アイデアを考えるのが難しい」と「活動の周知・P Rが難しい」が26.9%などとなっている。

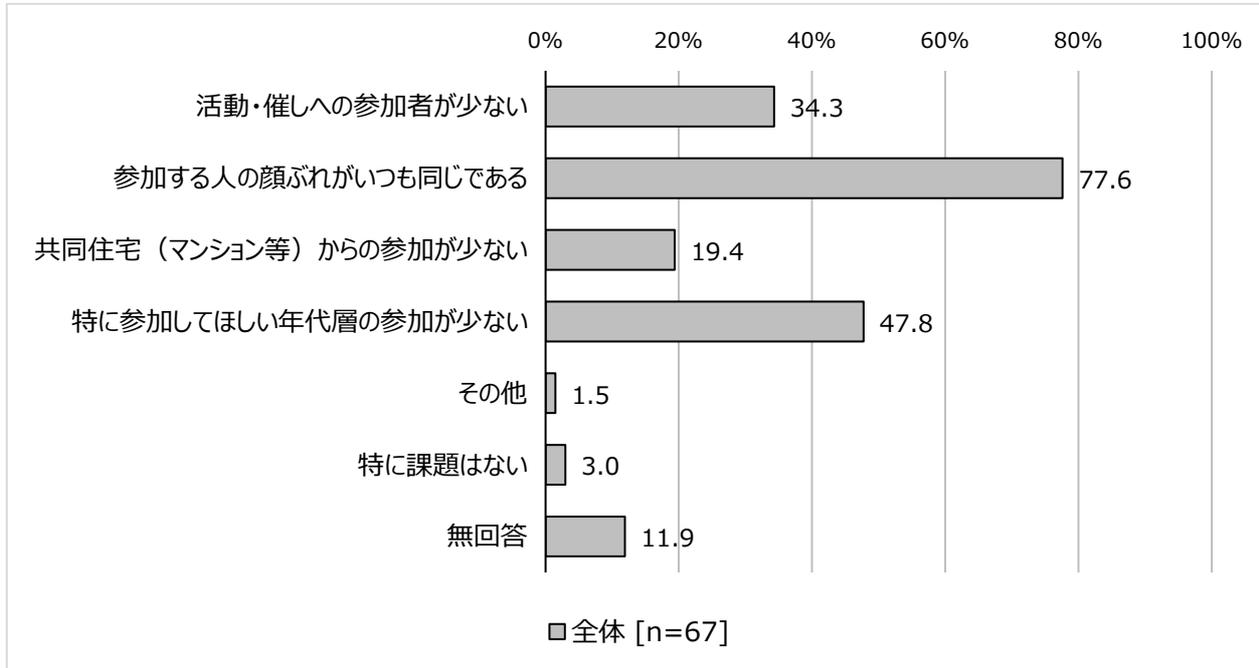
図表 22 活動を進めていくための課題（運営面）〔複数回答〕



④ 活動への住民の参加状況の課題（問 16③）

活動への住民の参加状況の課題は、「参加する人の顔ぶれがいつも同じである」が77.6%と最も多く、次いで「特に参加してほしい年代層の参加が少ない」が47.8%、「活動・催しへの参加者が少ない」が34.3%などとなっている。

図表 23 活動への住民の参加状況の課題〔複数回答〕

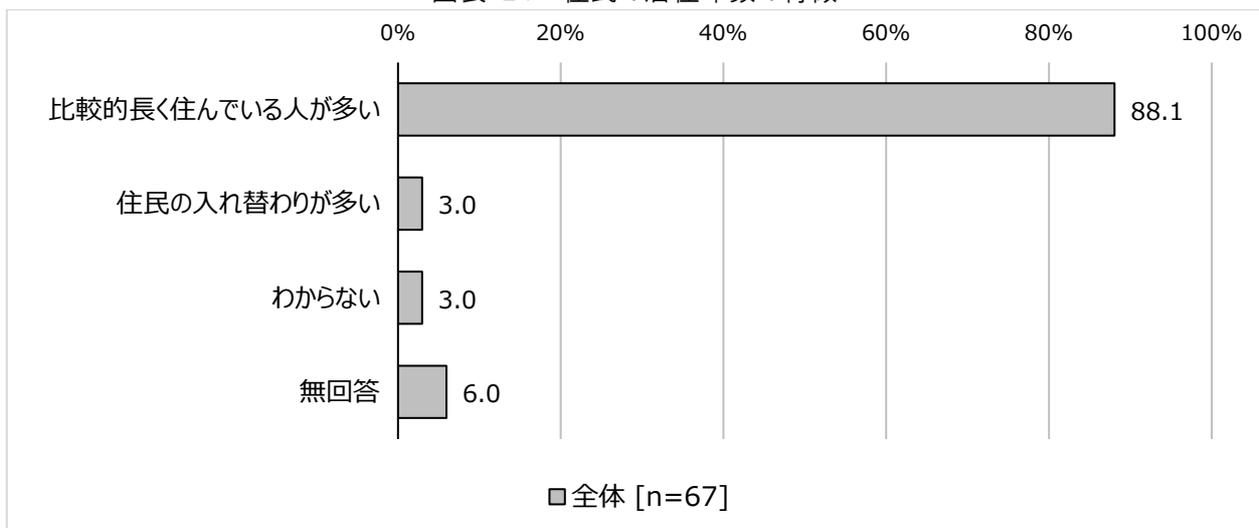


(7) 団体が活動している地域の状況等

① 住民の居住年数の特徴（問 21①）

住民の居住年数の特徴は、「比較的長く住んでいる人が多い」が88.1%と最も多くなっている。

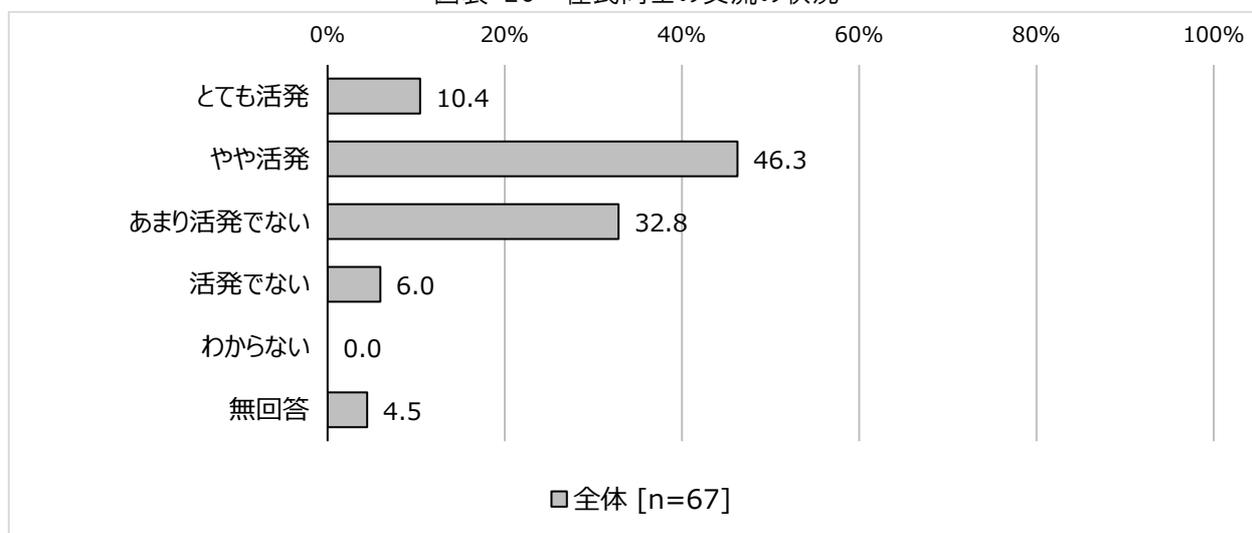
図表 24 住民の居住年数の特徴



② 住民同士の交流の状況（問 21②）

住民同士の交流の状況は、「やや活発」が46.3%と最も多く、次いで「あまり活発でない」が32.8%、「とても活発」が10.4%などとなっている。

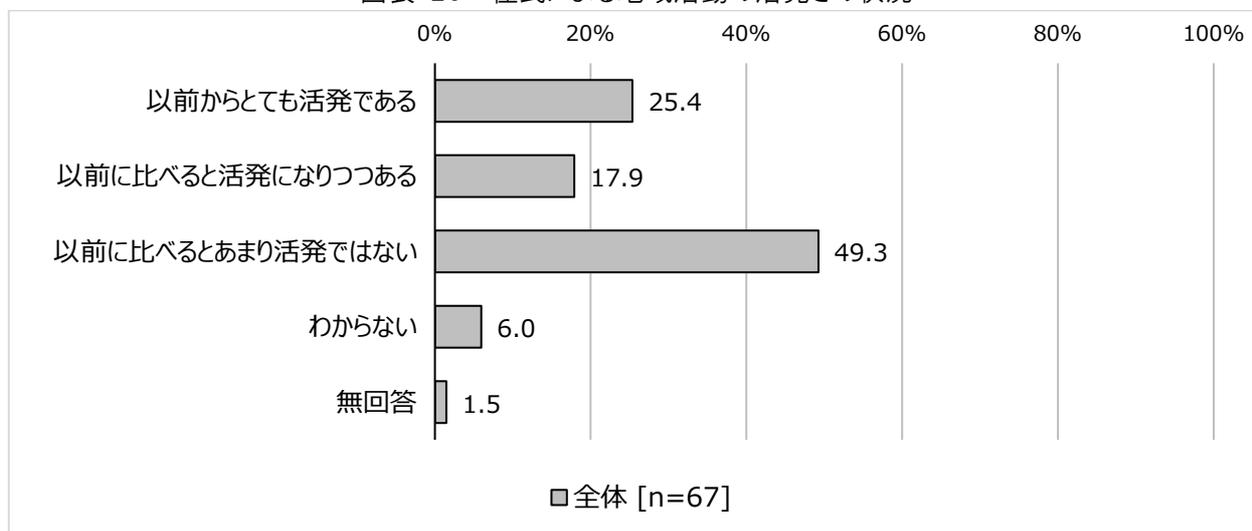
図表 25 住民同士の交流の状況



③ 住民による地域活動の活発さの状況（問 22）

住民による地域活動の活発さの状況は、「以前に比べるとあまり活発ではない」が49.3%と最も多く、次いで「以前からとても活発である」が25.4%、「以前に比べると活発になりつつある」が17.9%などとなっている。

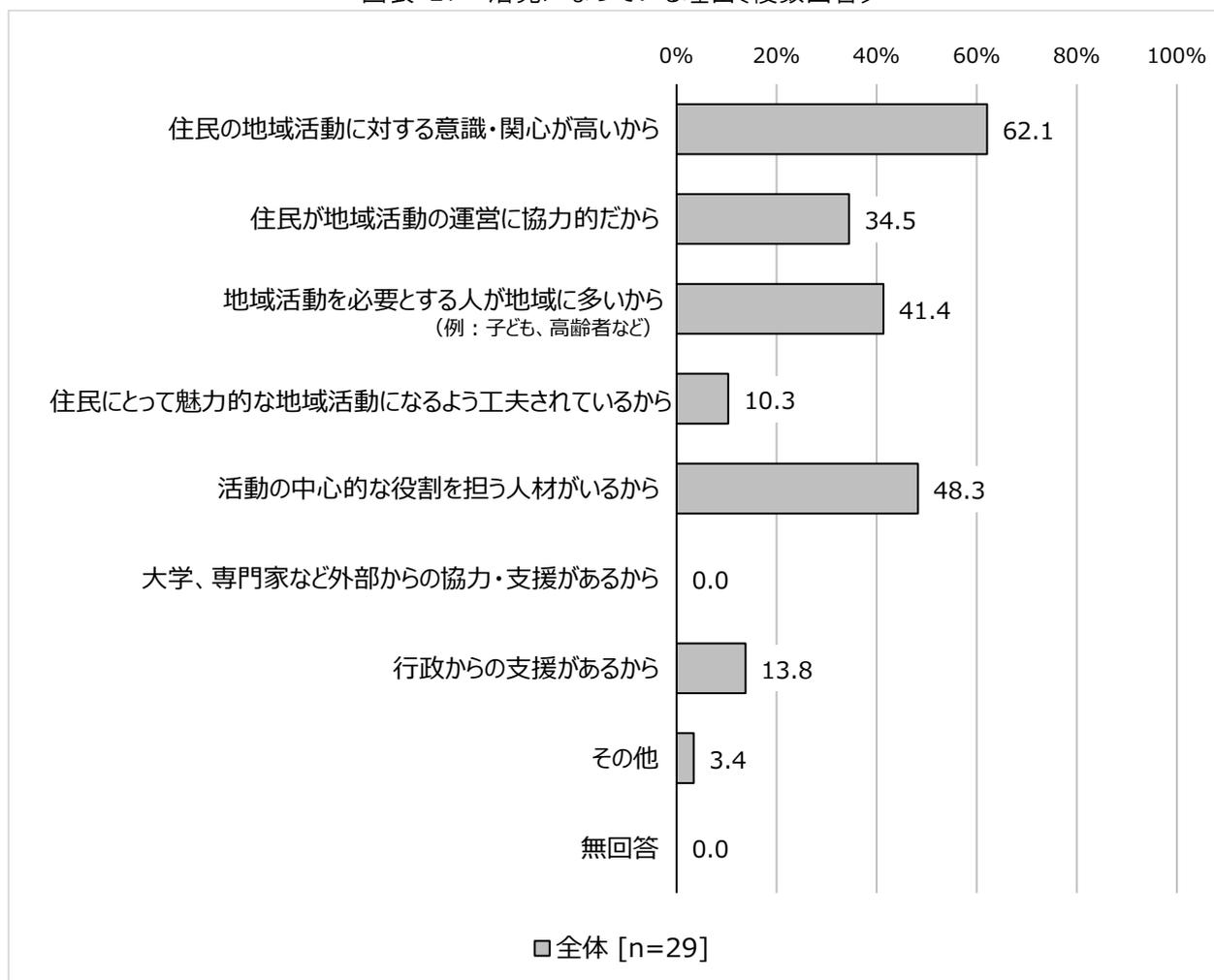
図表 26 住民による地域活動の活発さの状況



④ 活発になっている理由（問 23）

活発になっている理由は、「住民の地域活動に対する意識・関心が高いから」が62.1%と最も多く、次いで「活動の中心的な役割を担う人材がいるから」が48.3%、「地域活動を必要とする人（例：子ども、高齢者など）が地域に多いから」が41.4%などとなっている。

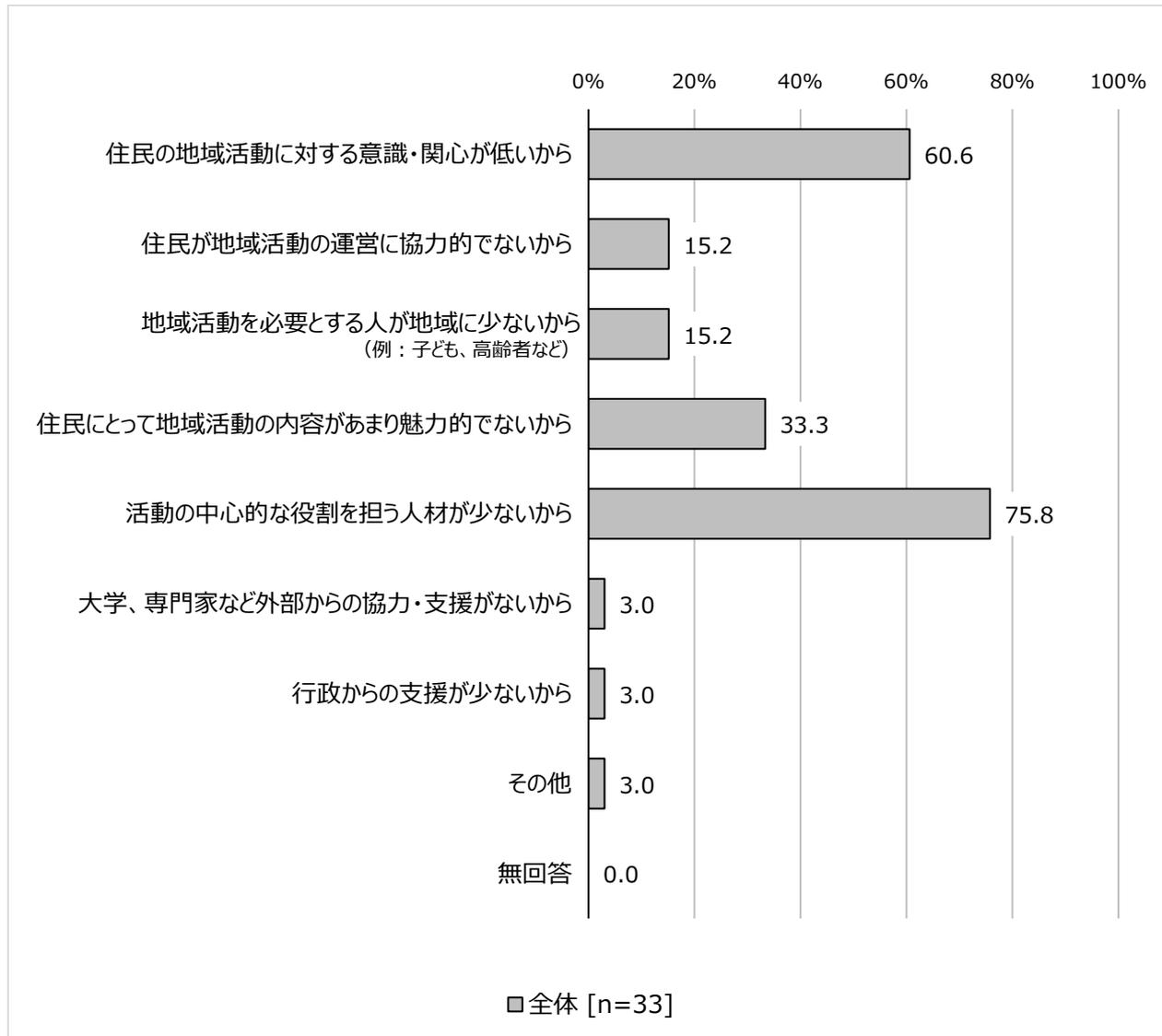
図表 27 活発になっている理由〔複数回答〕



⑤ 以前に比べて活発でなくなった理由（問 24）

以前に比べて活発でなくなった理由は、「活動の中心的な役割を担う人材が少ないから」が75.8%と最も多く、次いで「住民の地域活動に対する意識・関心が低いから」が60.6%、「住民にとって地域活動の内容があまり魅力的でないから」が33.3%などとなっている。

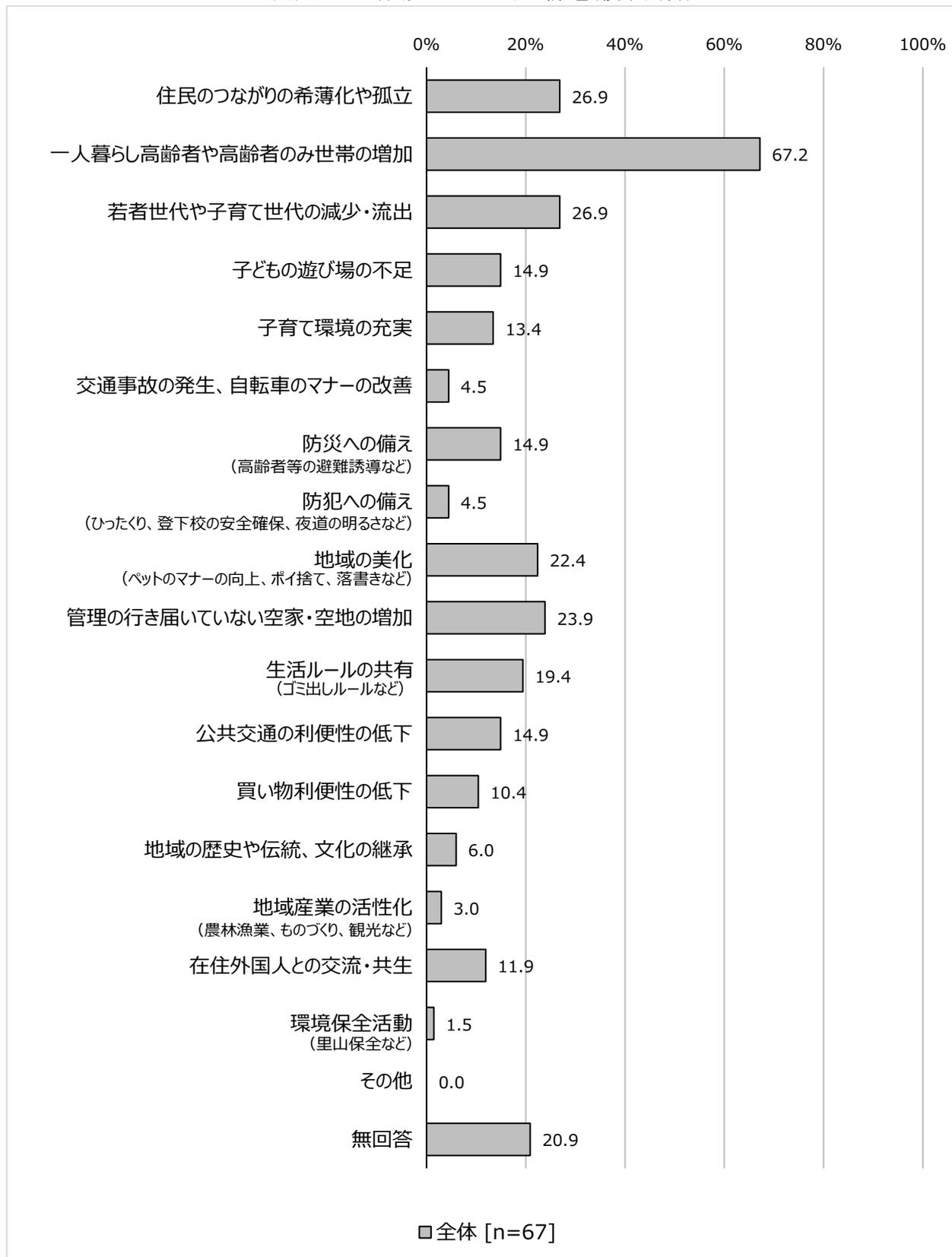
図表 28 以前に比べて活発でなくなった理由〔複数回答〕



⑥ 活動している地域の課題（問 25）

活動している地域の課題は、「一人暮らし高齢者や高齢者のみ世帯の増加」が67.2%と最も多く、次いで「住民のつながりの希薄化や孤立」と「若者世代や子育て世代の減少・流出」が26.9%などとなっている。

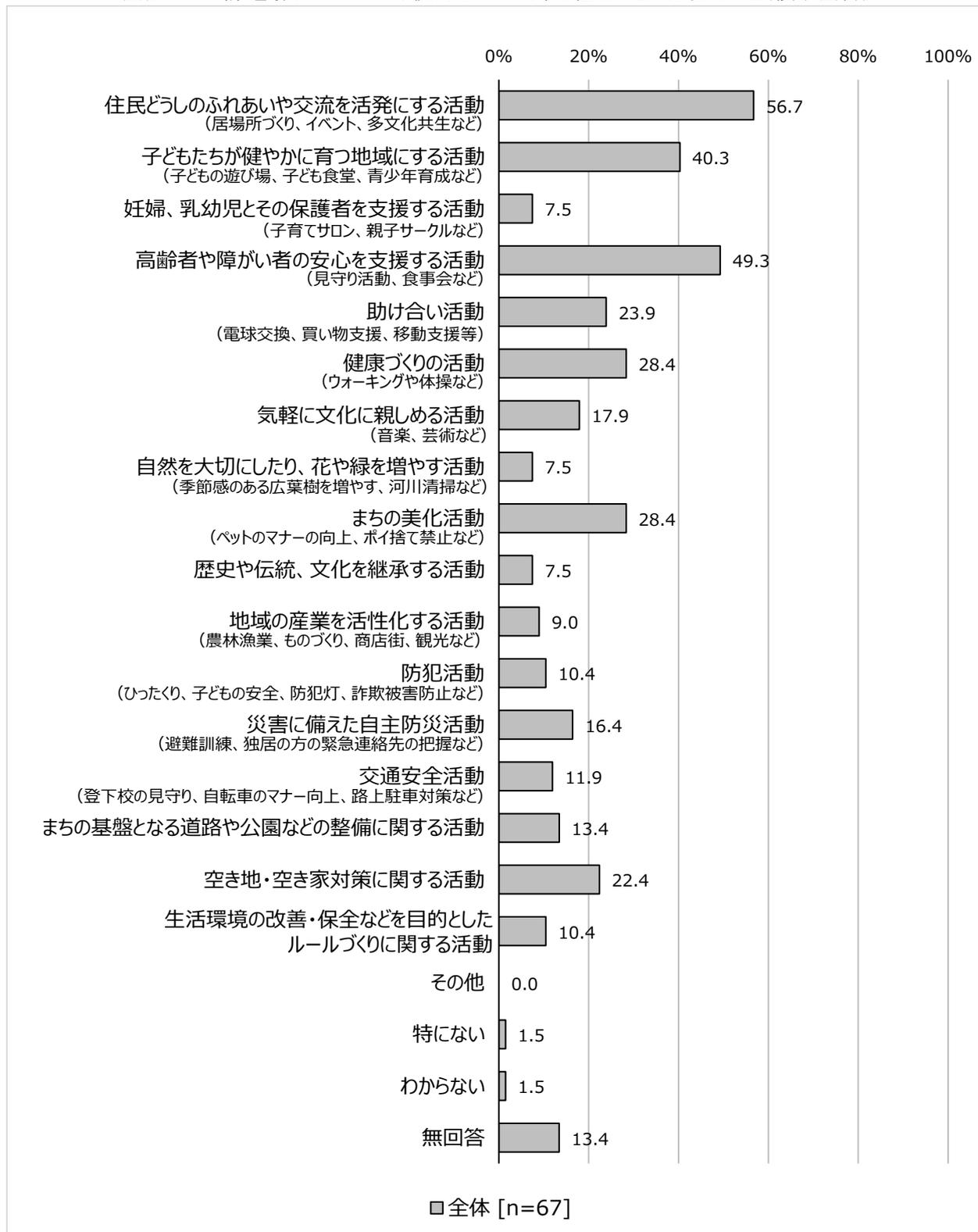
図表 29 活動している地域の課題〔複数回答〕



⑦課題解決のために今後力を入れて取り組むことが必要なこと（問 26）

課題解決のために今後力を入れて取り組むことが必要なことは、「住民どうしのふれあいや交流を活発にする活動（居場所づくり、イベント、多文化共生など）」が56.7%と最も多く、次いで「高齢者や障がい者の安心を支援する活動（見守り活動、食事会など）」が49.3%、「子どもたちが健やかに育つ地域にする活動（子どもの遊び場、子ども食堂、青少年育成など）」が40.3%などとなっている。

図表 30 課題解決のために今後力を入れて取り組むことが必要なこと〔複数回答〕

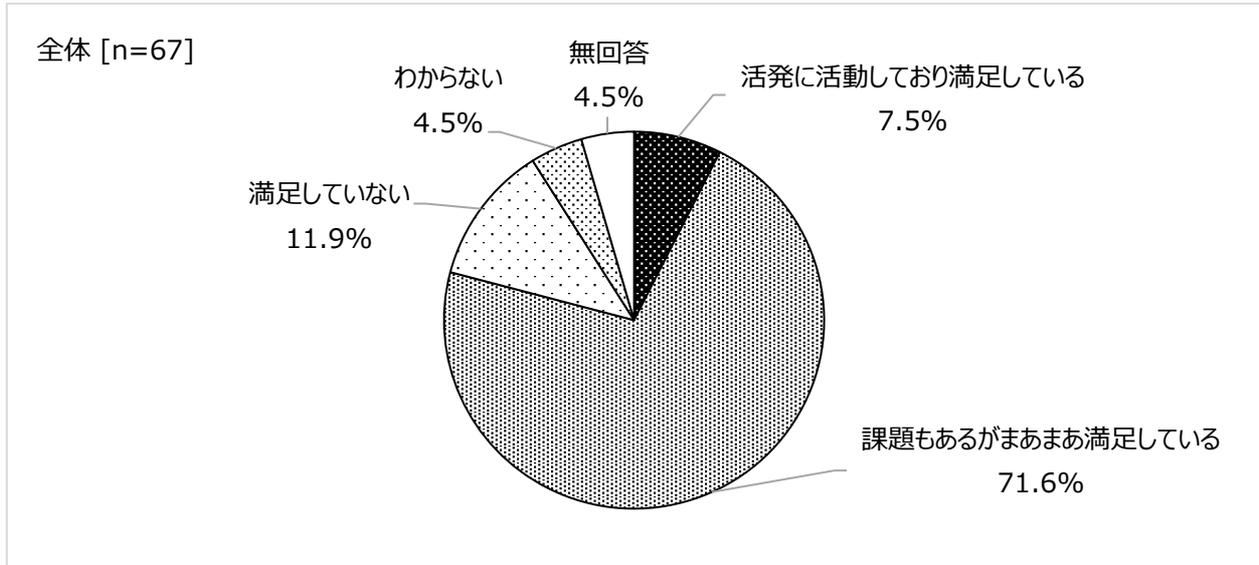


(8) 今後の活動に向けて

① 活動の現状についての満足度（問 27）

活動の現状についての満足度は、「課題もあるがまあまあ満足している」が71.6%と最も多く、次いで「満足していない」が11.9%、「活発に活動しており満足している」が7.5%などとなっている。

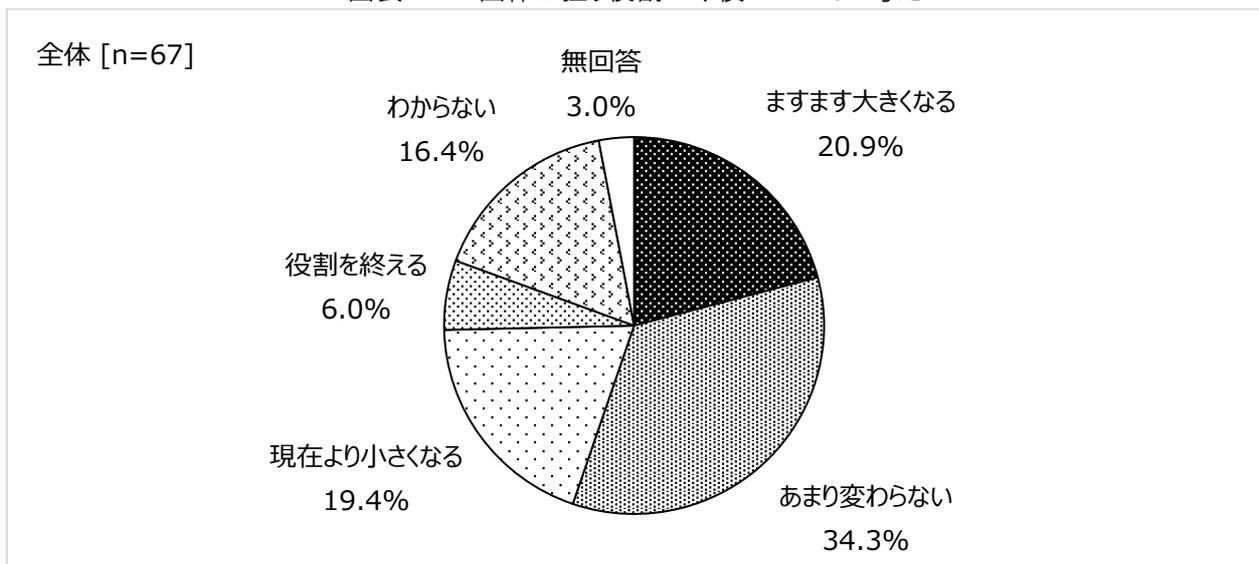
図表 31 活動の現状についての満足度



② 団体が担う役割の今後についての考え（問 28）

団体が担う役割の今後についての考えは、「あまり変わらない」が34.3%と最も多く、次いで「ますます大きくなる」が20.9%、「現在より小さくなる」が19.4%などとなっている。

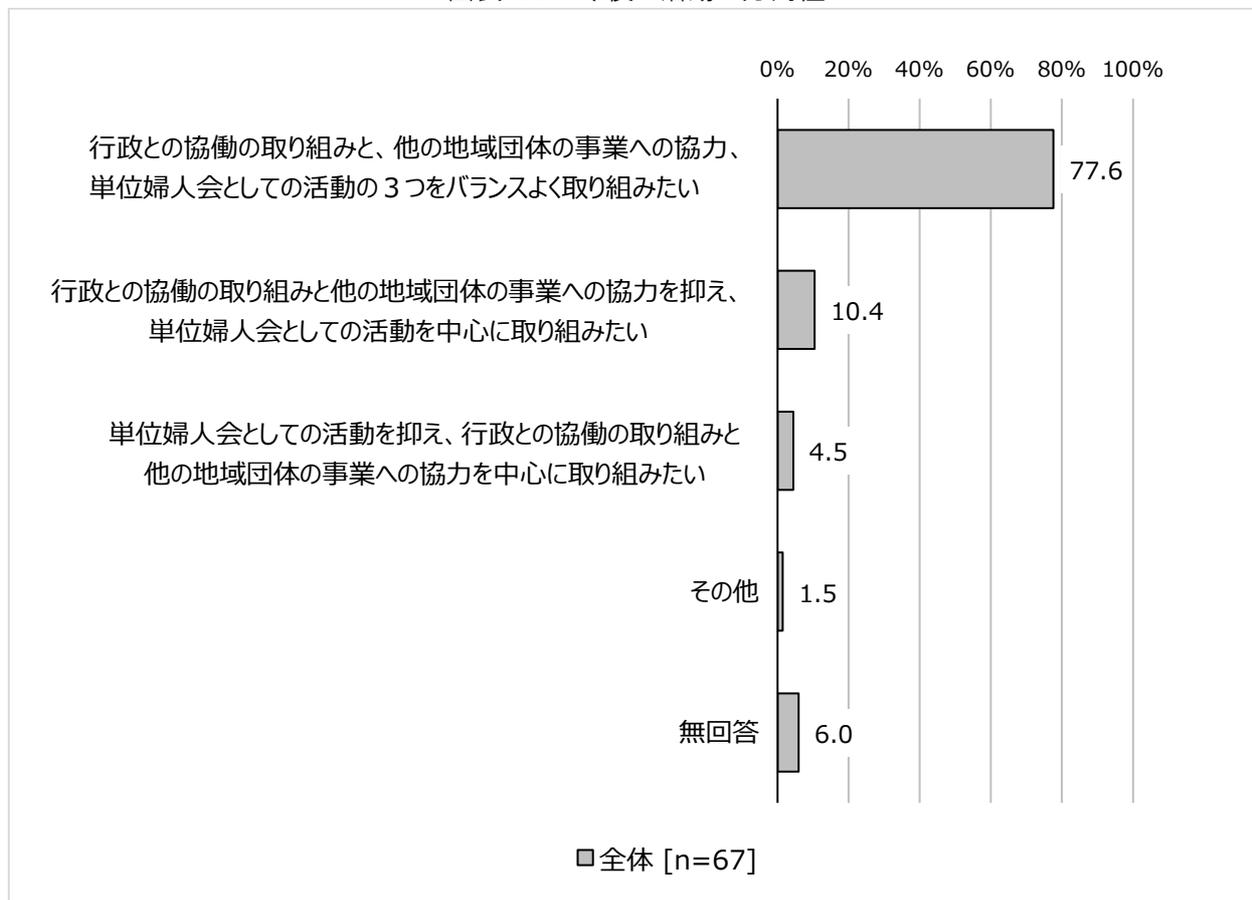
図表 32 団体が担う役割の今後についての考え



③ 今後の活動の方向性（問 10）

今後の活動の方向性は、「行政との協働の取り組みと、他の地域団体の事業への協力、単位婦人会としての活動の3つをバランスよく取り組みたい」が77.6%と最も多く、次いで「行政との協働の取り組みと他の地域団体の事業への協力を抑え、単位婦人会としての活動を中心に取り組みたい」が10.4%などとなっている。

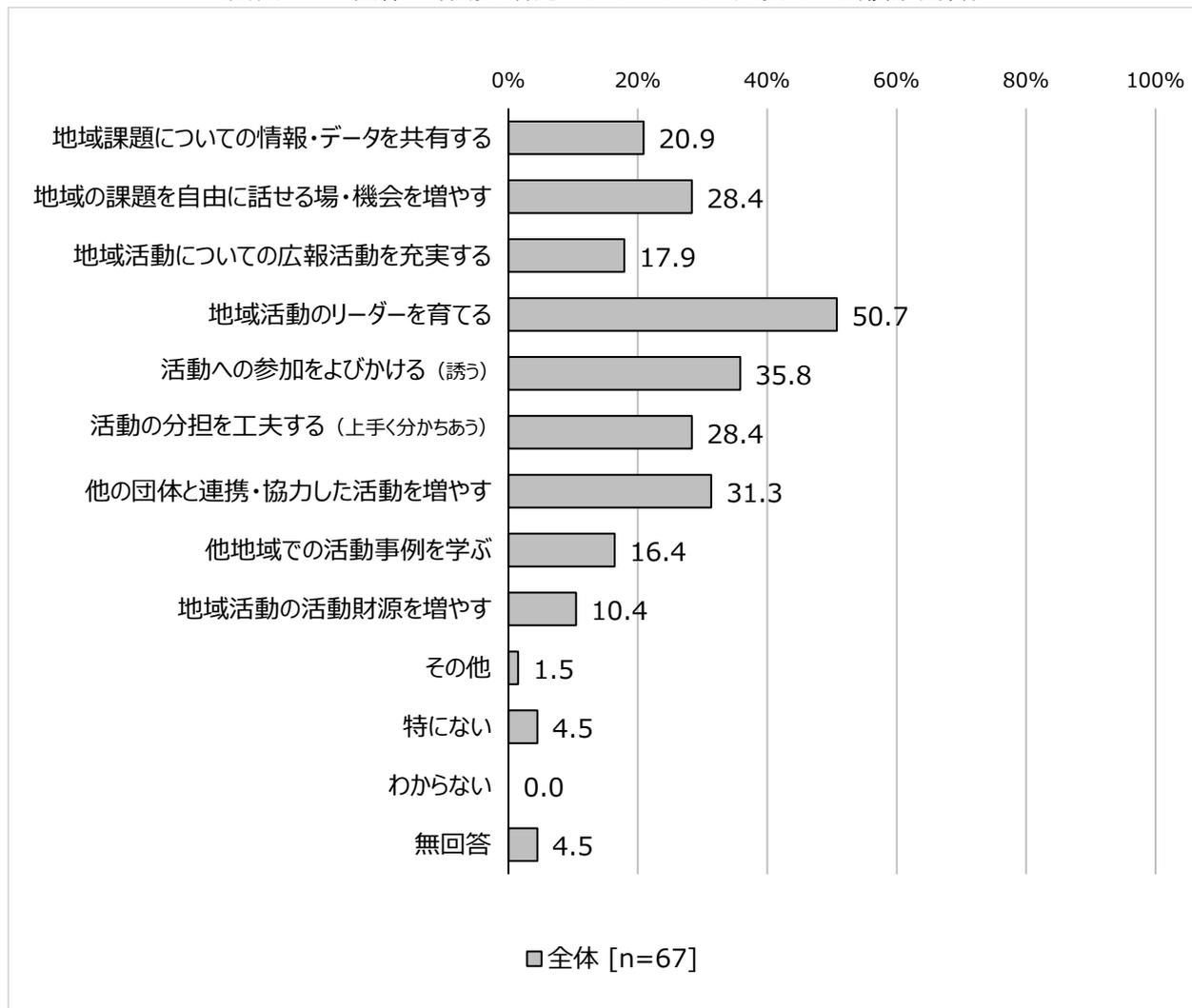
図表 33 今後の活動の方向性



④ 団体の活動を活発にしていくために必要なこと（問 29）

団体の活動を活発にしていくために必要なことは、「地域活動のリーダーを育てる」が50.7%と最も多く、次いで「活動への参加をよびかける（誘う）」が35.8%、「他の団体と連携・協力した活動を増やす」が31.3%などとなっている。

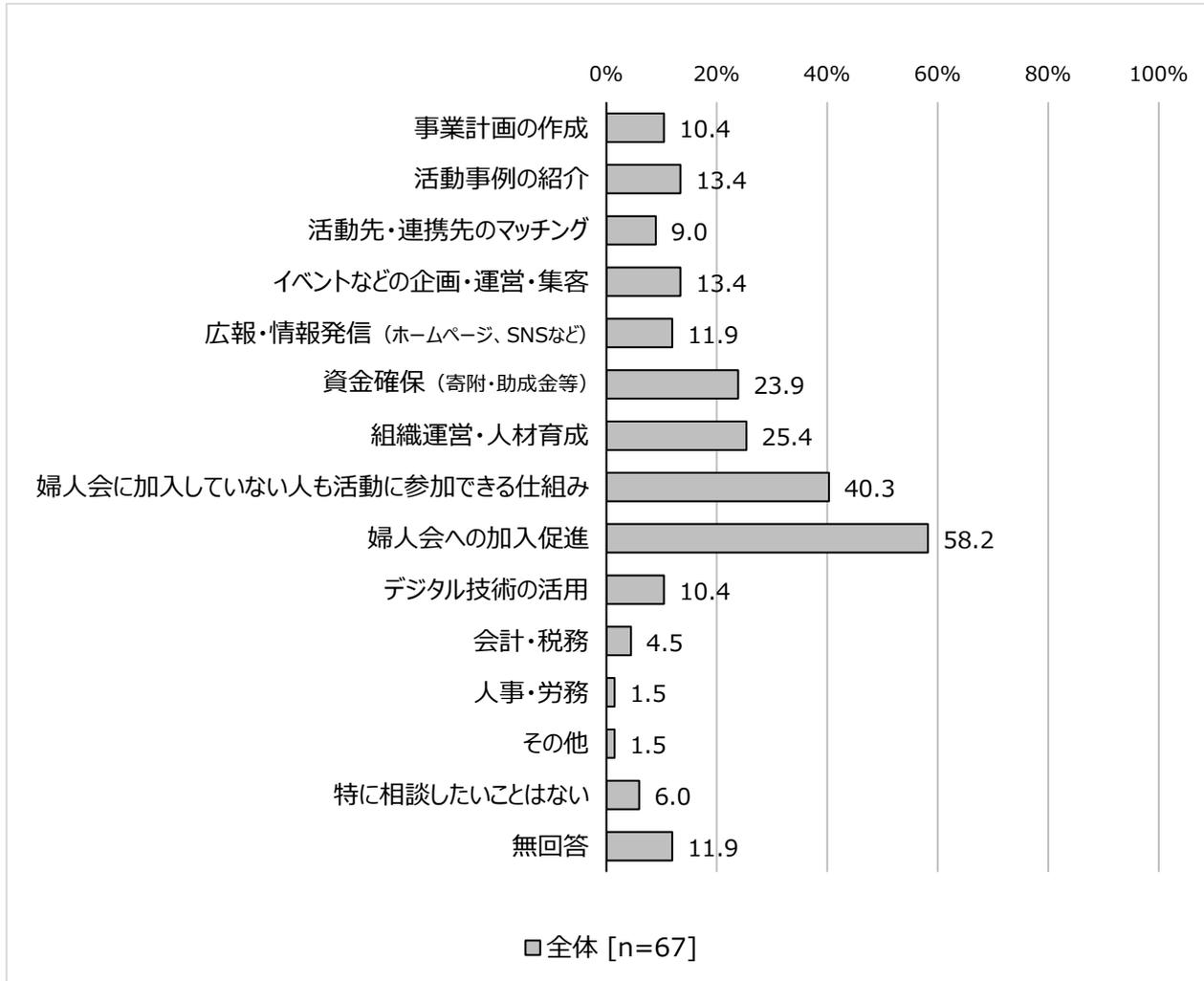
図表 34 団体の活動を活発にしていくために必要なこと〔複数回答〕



⑤ 市に相談したいことや支援を希望すること（問 31）

市に相談したいことや支援を希望することは、「婦人会への加入促進」が58.2%と最も多く、次いで「婦人会に加入していない人も活動に参加できる仕組み」が40.3%、「組織運営・人材育成」が25.4%などとなっている。

図表 35 市に相談したいことや支援を希望すること〔複数回答〕



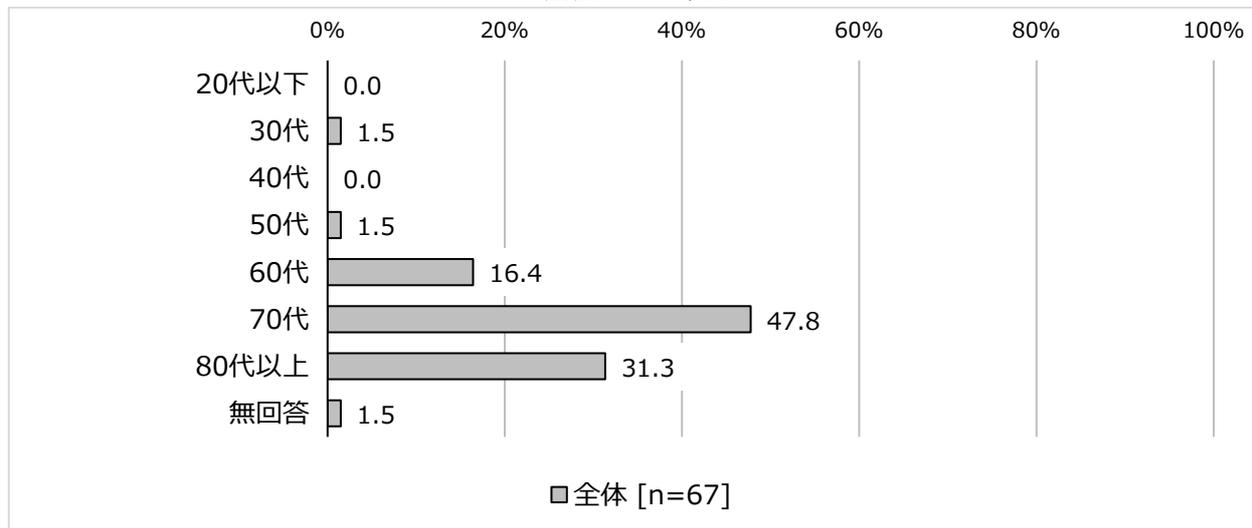
(9) 代表の活動状況

① 代表（回答者）の状況（問 42）

(7) 年代

年代は、「70代」が47.8%と最も多く、次いで「80代以上」が31.3%、「60代」が16.4%などとなっている。

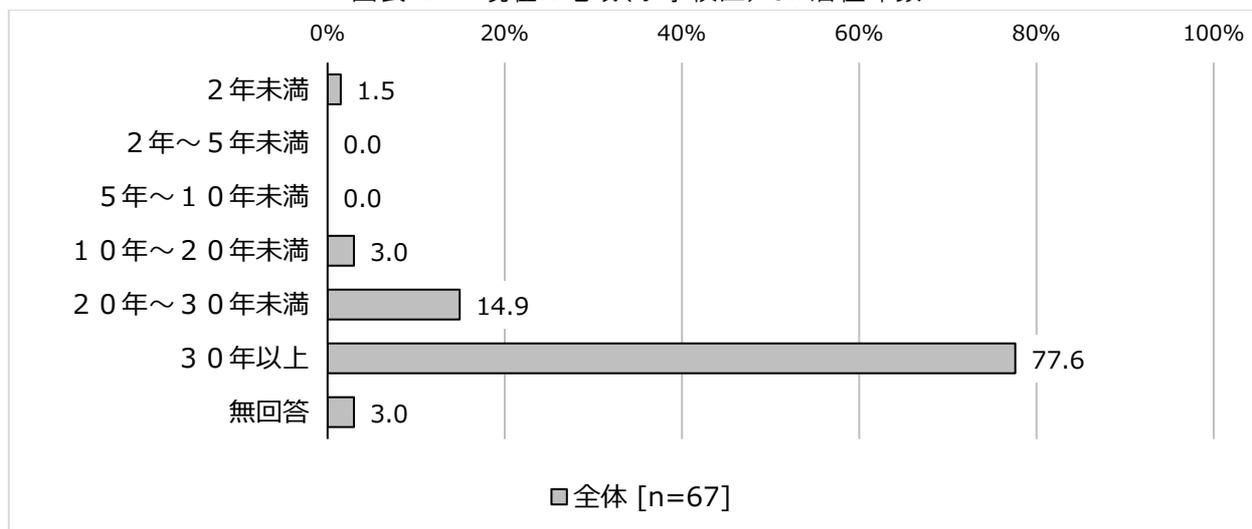
図表 36 年代



(4) 現在の地域（小学校区）での居住年数

現在の地域（小学校区）での居住年数は、「30年以上」が77.6%と最も多く、次いで「20年～30年未満」が14.9%などとなっている。

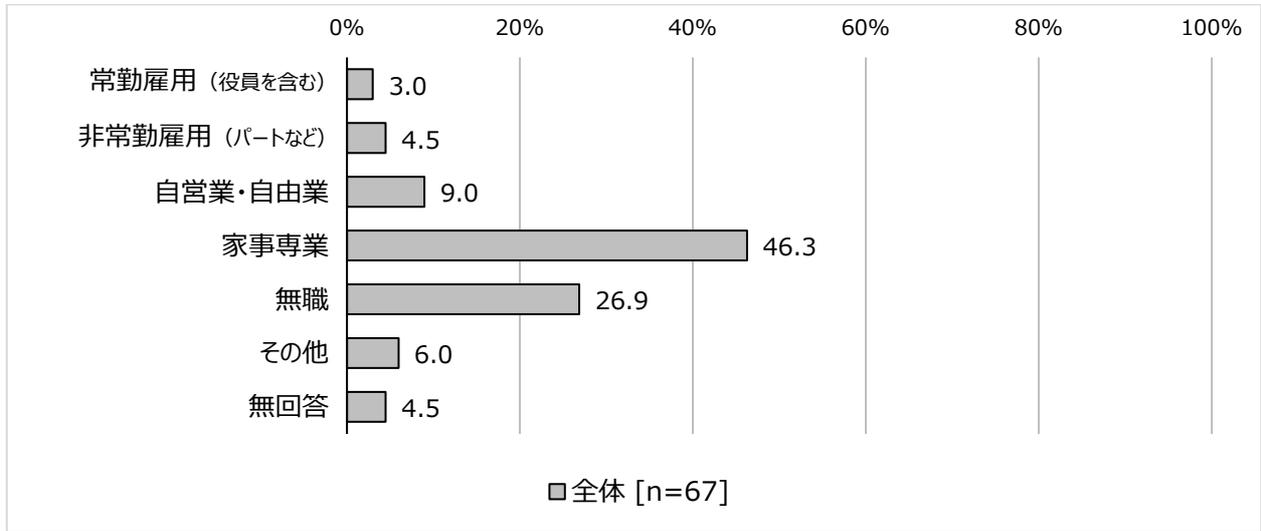
図表 37 現在の地域(小学校区)での居住年数



(ウ) 就業状況

就業状況は、「家事専業」が46.3%と最も多く、次いで「無職」が26.9%、「自営業・自由業」が9.0%などとなっている。

図表 38 就業状況



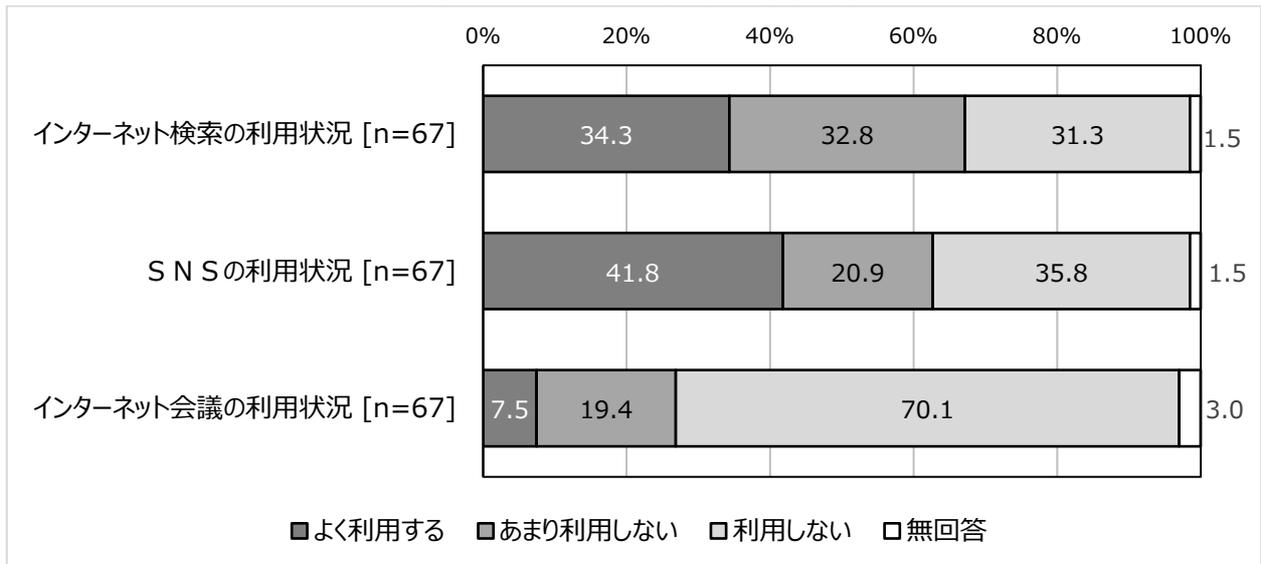
(エ) インターネット等の利用状況

インターネット検索の利用状況は、「よく利用する」が34.3%と最も多く、次いで「あまり利用しない」が32.8%、「利用しない」が31.3%となっている。

S N Sの利用状況は、「よく利用する」が41.8%と最も多く、次いで「利用しない」が35.8%、「あまり利用しない」が20.9%となっている。

インターネット会議の利用状況は、「利用しない」が70.1%と最も多く、次いで「あまり利用しない」が19.4%、「よく利用する」が7.5%となっている。

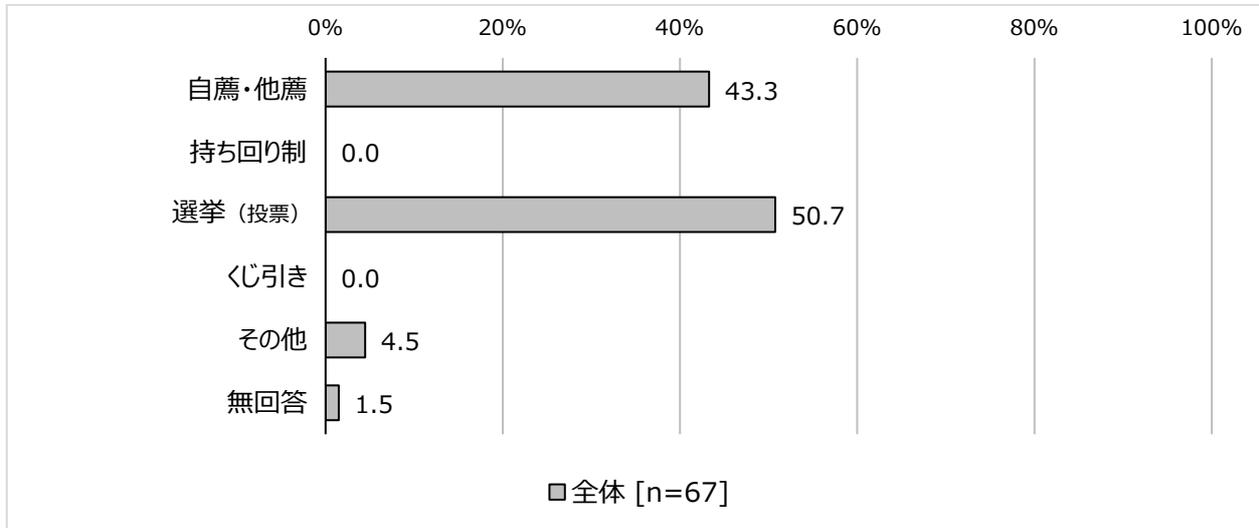
図表 39 インターネット等の利用状況



② 代表の選出方法（問 33）

代表の選出方法は、「選挙（投票）」が50.7%と最も多く、次いで「自薦・他薦」が43.3%、「その他」が4.5%などとなっている。

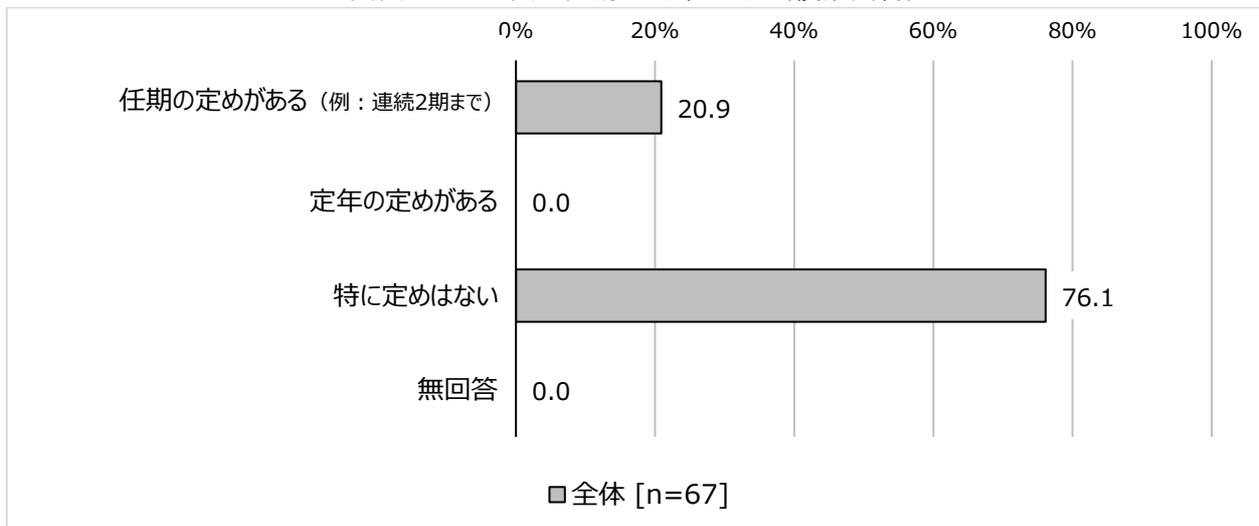
図表 40 代表の選出方法



③ 代表の任期や定年の定め（問 34）

代表の任期や定年の定めは、「特に定めはない」が76.1%と最も多く、次いで「任期の定めがある（例：連続2期まで）」が20.9%となっている。

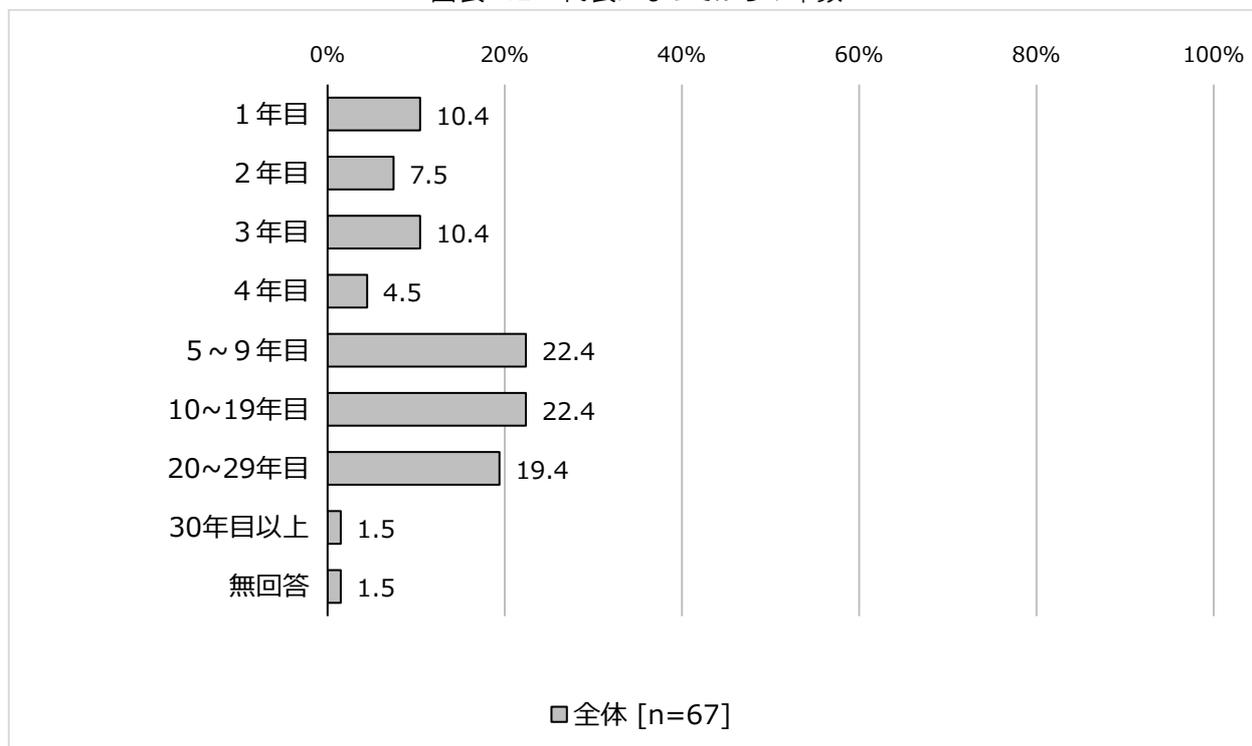
図表 41 代表の任期や定年の定め〔複数回答〕



④ 代表になってからの年数（問 35）

代表になってからの年数は、「5～9年目」と「10～19年目」が22.4%と最も多く、次いで「20～29年目」が19.4%などとなっている。

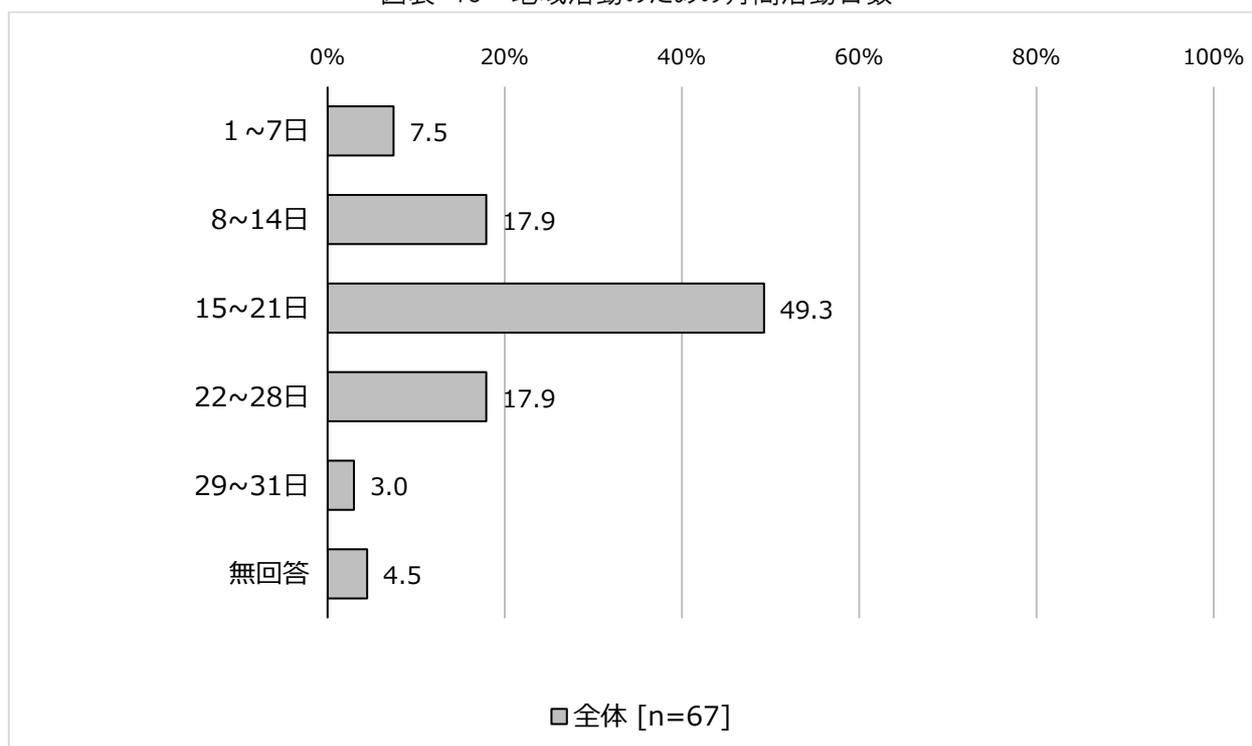
図表 42 代表になってからの年数



⑤ 地域活動のための月間活動日数（問 39）

地域活動のための月間活動日数は、「15～21日」が49.3%と最も多く、次いで「8～14日」と「22～28日」が17.9%などとなっている。

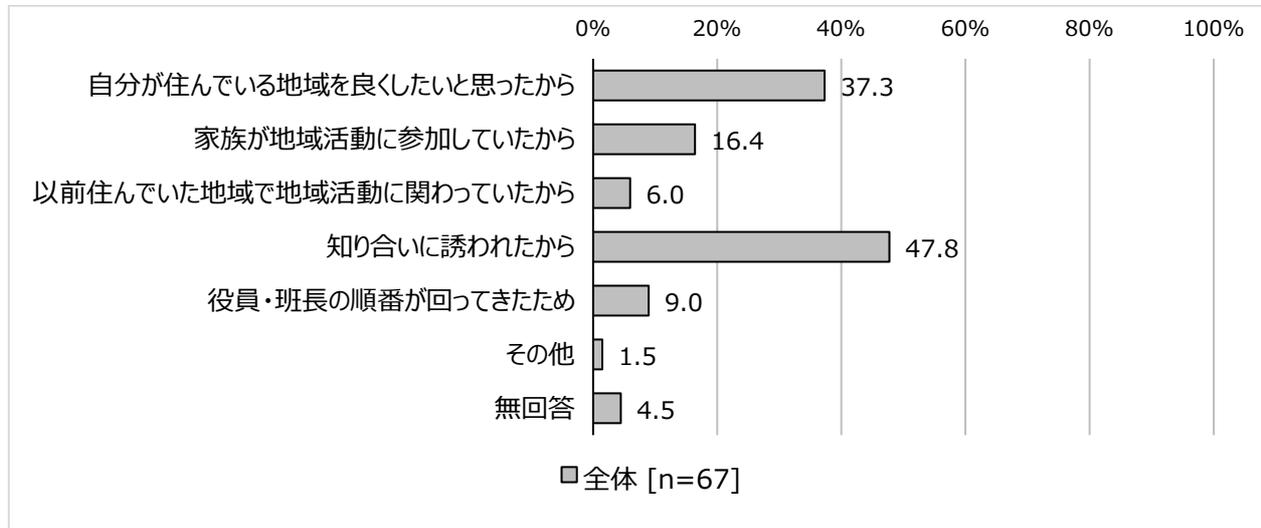
図表 43 地域活動のための月間活動日数



⑥ 地域活動の担い手として参加したきっかけ（問 37）

地域活動の担い手として参加したきっかけは、「知り合いに誘われたから」が47.8%と最も多く、次いで「自分が住んでいる地域を良くしたいと思ったから」が37.3%、「家族が地域活動に参加していたから」が16.4%などとなっている。

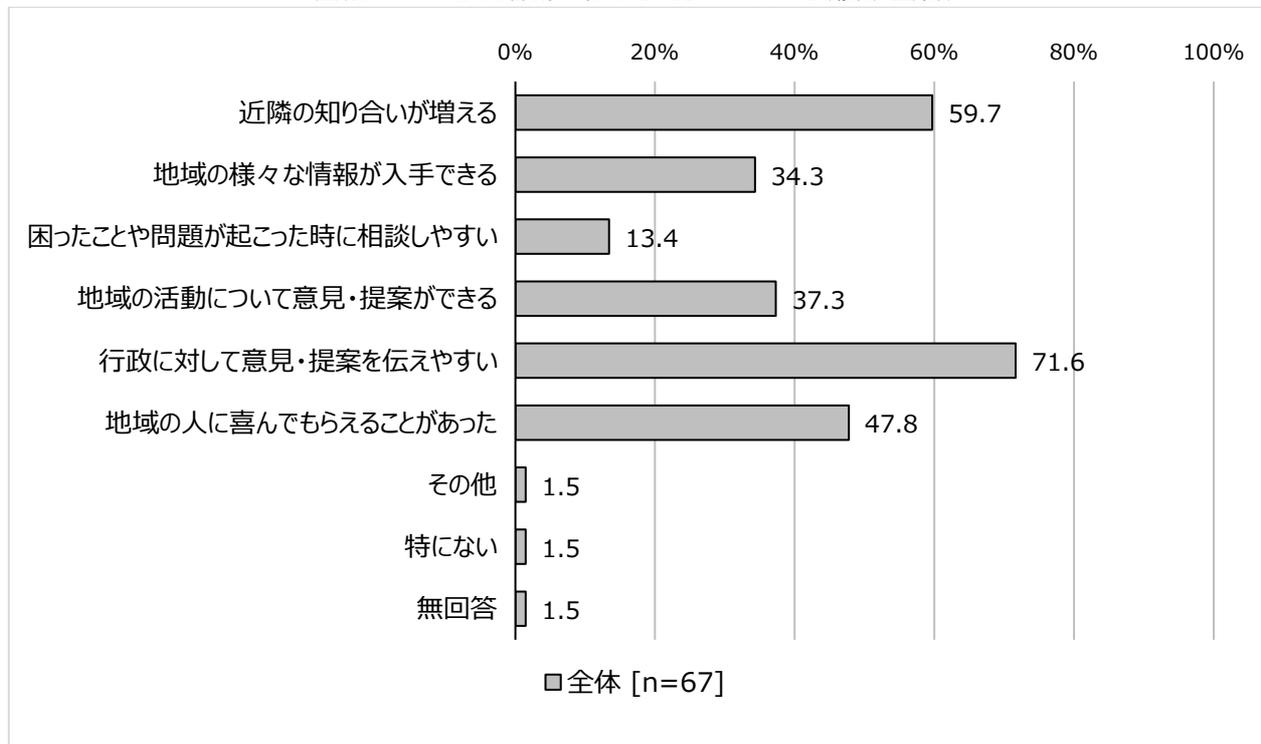
図表 44 地域活動の担い手として参加したきっかけ〔複数回答〕



⑦ 地域活動に参加してよかったこと（問 38）

地域活動に参加してよかったことは、「行政に対して意見・提案を伝えやすい」が71.6%と最も多く、次いで「近隣の知り合いが増える」が59.7%、「地域の人に喜んでもらえることがあった」が47.8%などとなっている。

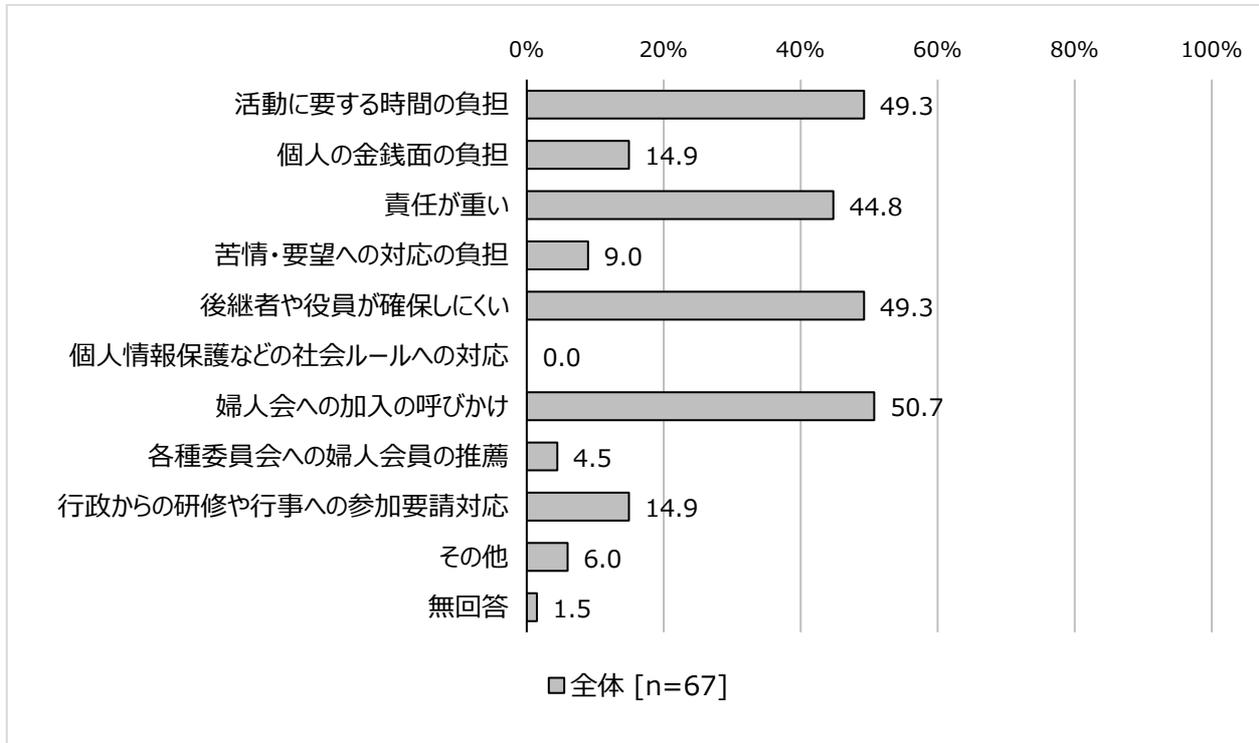
図表 45 地域活動に参加してよかったこと〔複数回答〕



⑧ 会長として特に感じる負担（問 40）

会長として特に感じる負担は、「婦人会への加入の呼びかけ」が50.7%と最も多く、次いで「活動に要する時間の負担」と「後継者や役員が確保しにくい」が49.3%などとなっている。

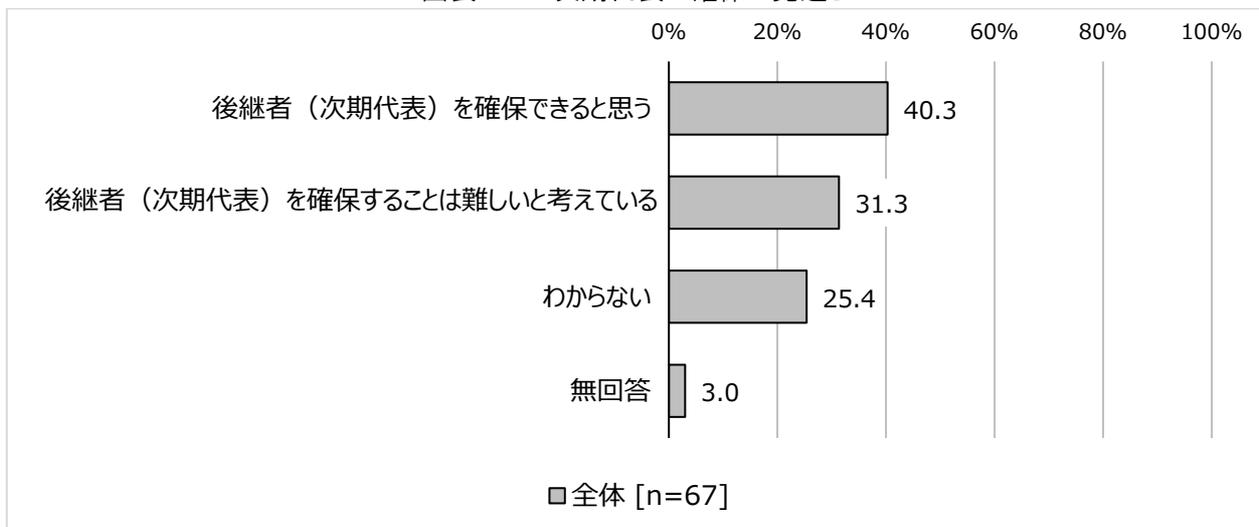
図表 46 会長として特に感じる負担〔複数回答〕



⑨ 次期代表の確保の見通し（問 36）

次期代表の確保の見通しは、「後継者（次期代表）を確保できると思う」が40.3%と最も多く、次いで「後継者（次期代表）を確保することは難しいと考えている」が31.3%、「わからない」が25.4%となっている。

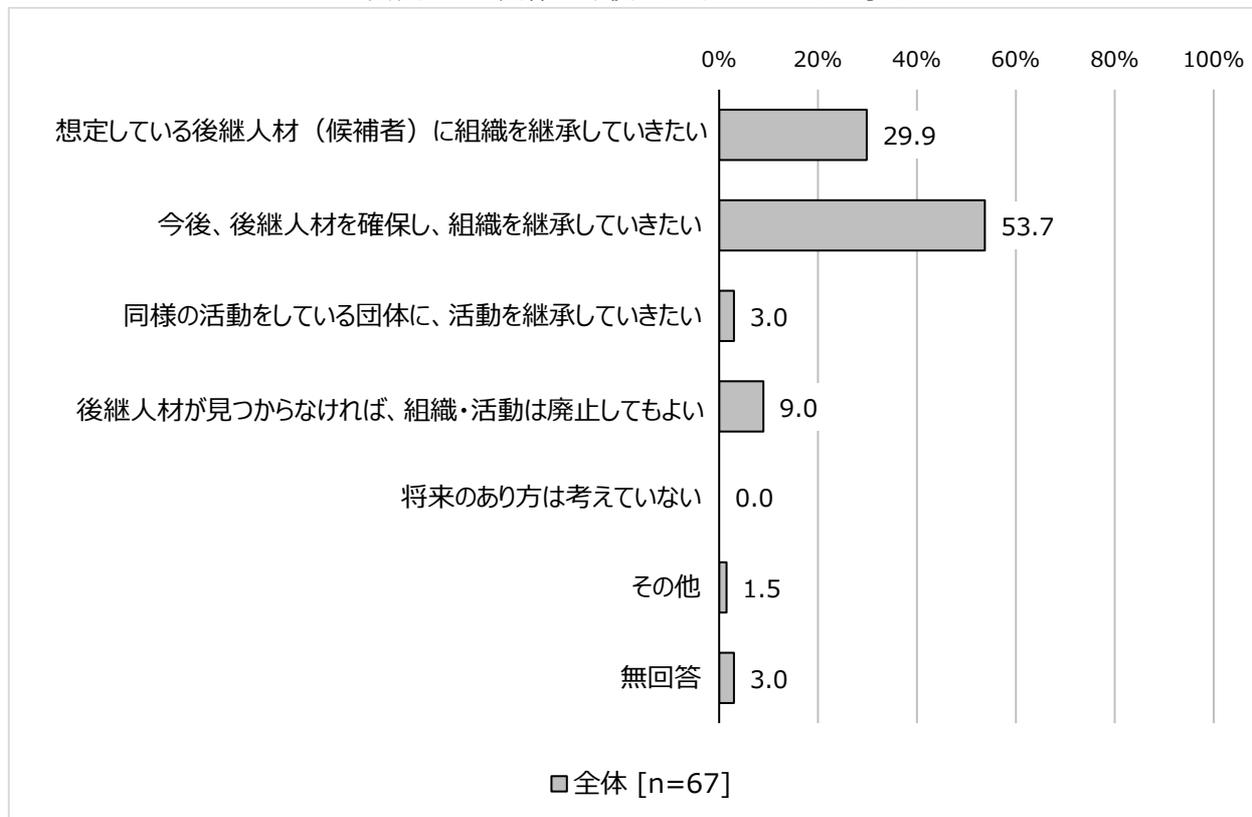
図表 47 次期代表の確保の見通し



⑩ 団体の今後のあり方についての考え（問 41）

団体の今後のあり方についての考えは、「今後、後継人材を確保し、組織を継承していきたい」が53.7%と最も多く、次いで「想定している後継人材（候補者）に組織を継承していきたい」が29.9%、「後継人材が見つからなければ、組織・活動は廃止してもよい」が9.0%などとなっている。

図表 48 団体の今後のあり方についての考え



(10) 自由意見

①運営での工夫(問30)、日頃の婦人会活動を通じて感じている課題(問32)

区分	主なご意見
意義・役割	<ul style="list-style-type: none"> ・世の中が必要としている婦人会の役割、地域活動に求められる必要性が変化している。豊かに暮らすためには、地域活動は必須であり、その中心的役割を婦人会が担っていると思う。 ・婦人会活動は地域の中で普通(一般)女性が住民の為に役立てる行動を普段からのびのび行うことができる素晴らしい組織であると思う。 ・日常活動で沢山の方と繋がり、自分との違いを知り、分かり合う大事さを感じながら、これからも地域の皆様と手を取り仲良くやっていきたいと思う。
企画	<ul style="list-style-type: none"> ・年度当初に行事の要望アンケートをとり、要望が多いものを開催している。
活動	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ以降は活動が途切れ途切れになり、現在も元には戻せていない。今後の活動形態を考える時期にきている。 ・地域福祉センターを活用して、地域住民が集える居場所づくり(手芸、体操、ふれあい議会、給食会)をしている。 ・高齢者や地域住民が集まれる場所をつくるため、空き家を利用してふれあい喫茶をはじめた。 ・市の施設を見学する機会を設けた。
体制確保	<ul style="list-style-type: none"> ・役員が高齢化し、活動が負担になっている。 ・高齢者が多く、次の役員(代表)が決まらない。 ・お仕事をされている方が多く、日中の活動への参加者が限られる。 ・若い人に婦人会活動をどうすれば理解し参加してもらえるか考えている。 ・年齢にこだわらず意欲のある人を登用している。 ・若い人材の育成に努めている。 ・自治会と婦人会の役員が別々だったが一緒にすることで負担を少なくした。
組織運営	<ul style="list-style-type: none"> ・一人に負担がかからないよう役割分担をしている。 ・イベント等の準備の負担が偏っている。 ・デジタル化が進む中でまだまだアナログ派が多い。若い人たちにデジタル化を担当してもらえば、会員の増加にもなると思う。 ・活動中の事故、怪我に対する補償が心配である。 ・SNSを活用して役員とは密に連絡・伝達をして、情報を共有している。
連携	<ul style="list-style-type: none"> ・婦人が動けば活気がでる。他の団体とも協力体制が取りやすい。 ・他のふれまち協などに協力していただいた。 ・PTAとの交流を大切にしていきたいがそれも今は難しい。 ・ふれまち協の配食は婦人会が関与しにくい。取組体制が地域により異なっていて、統一されていない。
施設・設備	<ul style="list-style-type: none"> ・婦人会独自の部屋・建物がなく、食事会、喫茶等何もできない。 ・会員が点在しているので、地域福祉センターを拠点にできない。集まる場所が無いのが一番の課題である。 ・会員が、ふれまち協の役員になっていないので地域福祉センターを借りにくい。 ・地域福祉センターをもう少し自由に使用できるようにしてほしい。
財源	<ul style="list-style-type: none"> ・婦人会に対する助成金がない。 ・ボランティアの有償化ができれば参加する人も増えるのではないかと。 ・サロンの参加費を徴収する(ランチの材料費、手芸の材料費等)。 ・企業に資金面で協力していただいた。

区分	主なご意見
広報	<ul style="list-style-type: none"> ・ 婦人会に入って良かった事がたくさんあるが、それが発信できていないという反省がある。 ・ もっと地域の方に活動を知ってほしい。 ・ 婦人会が何をしているのかがうまく伝わっていない。 ・ 婦人会の活動が世間に知られていない。

② コロナ禍において新たに取り組んだこと（問 30）

区分	主なご意見
活動	<ul style="list-style-type: none"> ・ サロンなどの際に、円卓にしないで机を前向きに配置した。 ・ イベントへの参加人数を制限した。 ・ イベントを休止した。 ・ パーテーションや紙コップを使った。 ・ 孤立化防止やフレイル予防のため集まりをもった。
組織運営	<ul style="list-style-type: none"> ・ これまで活動を振り返った。 ・ 会議の参加人数を少なくした。 ・ 会議の開催回数を減らし、開催時間を短くした。 ・ 広報紙で活動状況を会員に伝えた。

③ その他

区分	主なご意見
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・ 婦人会会長の定年制度を作ってほしい。 ・ 市政懇に提出した課題に対して、時間はかかるが解決してくださることに感謝している。

調査票

婦人会 調査票

1. 貴団体の活動について

問1 貴団体の名称をお聞かせください。

婦人会

問2 貴団体の会員数をお聞かせください。(○印は1つ)

- | | | |
|-----------|-------------|-----------|
| 1. 10人以下 | 4. 31~50人 | 7. 500人以上 |
| 2. 11~20人 | 5. 51~99人 | |
| 3. 21~30人 | 6. 100~499人 | |

問3 貴団体の会員の年齢の特徴をお聞かせください。(○印は1つ)

- | | |
|-----------------|--------------|
| 1. 幅広い年代の人がいる | 4. 60歳代以上が多い |
| 2. 30歳未満が多い | 5. その他 () |
| 3. 30歳代~50歳代が多い | 6. わからない |

問4 貴団体では令和元年度以降、新たに会員となった方はいますか。(○印は1つ)

- | |
|-----------------------------------|
| 1. いる → 令和元年度以降、新たに会員となった人数 () 人 |
| 2. いない |

(会員募集の取り組みで、効果的だったアイデアなどがあればお聞かせください。)

問5 貴団体の主な収入源をお聞かせください。(○印はいくつでも)

- | | |
|----------------------|---------------|
| 1. 会費収入 | 6. 地域団体からの助成金 |
| 2. 寄附金・協賛金 | 7. 民間からの助成金 |
| 3. 事業収入(行政からの委託料を除く) | 8. その他 () |
| 4. 行政からの委託料 | 9. 特に収入はない |
| 5. 行政からの補助金・助成金 | |

問6 貴団体の会費は、年額いくらですか。(○印は1つ)

- | | |
|--------------------|---------------------|
| 1. 0円(集めていない) | 5. 年額3,601円~6,000円 |
| 2. 年額1円~1,200円 | 6. 年額6,001円~12,000円 |
| 3. 年額1,201円~2,400円 | 7. 年額12,001円以上 |
| 4. 年額2,401円~3,600円 | |

問7 貴団体の直近年度の決算の収入額の規模をお聞かせください。(○印は1つ)

- | | |
|-------------------|--------------------|
| 1. 10万円未満 | 4. 100万円以上 500万円未満 |
| 2. 10万円以上 50万円未満 | 5. 500万円以上 |
| 3. 50万円以上 100万円未満 | |

問8 貴団体の活動頻度をお聞かせください。(○印は1つ)

1. ほぼ毎日	4. 月に1~2回	7. その他 ()
2. 週に2~3回	5. 2か月に1回	8. 現在活動していない
3. 週に1回	6. 年に数回	

問9 貴団体では、どのような活動をしていますか。また、コロナ禍等により現在休止しているが、いずれ再開したい活動と、今後特に力を入れたい活動を、それぞれお聞かせください。

活動		現在実施している (○印はいくつでも)	休止しているが再開したい (○印はいくつでも)	今後特に力を入れたい (○印は5つまで)
(記入例)	親子の学び教室	1	①	1
地域住民の福祉向上に関する事	①親子の学び教室	1	1	1
	②こども食堂	2	2	2
	③学習支援	3	3	3
	④ふれあいサロン(喫茶)	4	4	4
	⑤ふれあい給食	5	5	5
	⑥世代間交流(伝統行事の継承等)	6	6	6
	⑦多世代交流を目的とした講座開催	7	7	7
	⑧子育てサークルづくり	8	8	8
環境美化に関する事	⑨資源集団回収	9	9	9
	⑩エコタウンまちづくり	10	10	10
	⑪ハミング広場	11	11	11
	⑫清掃・美化活動	12	12	12
安全・安心なまちづくりに関する事	⑬防火・防災活動	13	13	13
	⑭交通安全運動(放置自転車対策を含む)	14	14	14
	⑮防犯活動	15	15	15
	⑯空き家対策	16	16	16
レクリエーション・地域のたすけあい	⑰共同募金	17	17	17
	⑱他の地域団体のイベント・祭りへの協力	18	18	18
	⑲趣味・スポーツ・サークル活動	19	19	19
	⑳親睦活動(旅行、会食など)	20	20	20
	㉑バザー・展覧会の開催	21	21	21
	㉒死亡弔慰金(物品含む)	22	22	22
	㉓出産・敬老等の祝い金(物品含む)	23	23	23
その他	㉔消費者学級	24	24	24
	㉕婦人会ニュース(広報紙)の発行	25	25	25
	㉖その他()	26	26	26

↑

○印が5つまで
であることを確認を
お願いします。

問10 貴団体の今後の活動の方向性について、あなたのお考えをお聞かせください。（○印は1つ）

1. 行政との協働の取り組みと、他の地域団体の事業への協力、単位婦人会としての活動の3つをバランスよく取り組みたい
2. 行政との協働の取り組みと他の地域団体の事業への協力を抑え、単位婦人会としての活動を中心に取り組みたい
3. 単位婦人会としての活動を抑え、行政との協働の取り組みと他の地域団体の事業への協力を中心に取り組みたい
4. その他（ ）

問11 貴団体の活動において、定期的に利用している市内の施設をお聞かせ下さい。（最大3施設まで）

（対象となる施設・活動や記入方法の補足）

- ・同じ施設で、2か月に1回以上の頻度で開催している活動について記載してください。
- ・屋外（公園など）での活動は対象外とします。
- ・総会や役員会、イベントの準備・打合せなど、組織運営や準備に関わる活動は対象外とします。
- ・同じ施設で行っている活動が3つ以上ある場合は、参加人数が多いものを優先して記載してください。
- ・施設の所在地（住所）は、番地・建物名まで記入してください。
- ・月当たりの開催日数は、次を参考として記載してください。

毎日 ⇒ 31日 毎週1回 ⇒ 4日 毎月1回 ⇒ 1日 2か月に1回 ⇒ 0.5日

（記入例）

利用施設の名称①	●●会館		
施設の所在地（住所） ※番地・建物名まで記入	（※地域福祉センターの場合は、住所記入不要です） 神戸市 ●● 区 ●●通●—●—● ●●ビル●F		
施設の種別（○は1つ）	1. 貴団体の所有施設 2. 貴団体が長期に賃借している施設 ③ 地域の他の団体の所有施設 4. 地域の共同住宅の会議室 5. 会員の個人宅 6. 民間の貸し会議室	7. 地域福祉センター 8. 学校施設（教室、講堂等） 9. その他の公共施設 （ ） 10. その他 （ ）	
	集まりの名称	主な利用対象	月回数
①	子育てサロン	1. どなたでも 2. 子ども ③ 親子 4. 高齢者 5. その他	4日/月
②	ふれあい喫茶	① どなたでも 2. 子ども 3. 親子 4. 高齢者 5. その他	4日/月
③	キッズ体操	1. どなたでも ② 子ども 3. 親子 4. 高齢者 5. その他	1日/月

問15 貴団体では、次に挙げるような講習会が開催された際に参加してみたいですか。(○印はいくつでも)

- | | |
|-----------------------|--------------------------|
| 1. パソコン、スマートフォン等の利用方法 | 6. 文書作成・表計算等のビジネスソフトの使い方 |
| 2. ホームページの作成方法 | 7. 画像・動画の編集ソフトの使い方 |
| 3. SNSの利用方法 | 8. 他の団体におけるICTの活用事例の紹介 |
| 4. インターネット会議の実施方法 | 9. その他 () |
| 5. セキュリティ対策 | 10. 参加したい講習会はない |

問16 貴団体の活動を進めるうえで課題として感じておられることをお聞かせください。

①人材面での課題 (○印は3つまで)

- | | |
|------------------------|-------------------------------|
| 1. 役員のなり手がいない | 4. インターネットを活用した広報ができるスタッフが少ない |
| 2. 運営を手伝ってくれるスタッフが足りない | 5. その他 () |
| 3. 事務・会計処理を行える人が少ない | 6. 特に課題はない |

②運営面での課題 (○印は3つまで)

- | | |
|------------------------|-----------------------------|
| 1. 活動の企画・アイデアを考えるのが難しい | 8. 適切な感染予防対策がわからない |
| 2. 会合や催しを行える場所が少ない | 9. 活動資金が不足している |
| 3. 活動の周知・PRが難しい | 10. 団体名で契約ができない(携帯電話等) |
| 4. 事務・会計処理の負担が重い | 11. 団体名で財産が保有できない(不動産、自動車等) |
| 5. 地域内の団体間の調整が難しい | 12. 会員が減っている・新規会員を確保できていない |
| 6. 個人情報の取り扱いが難しい | 13. その他 () |
| 7. 感染予防対策の費用負担などが重い | 14. 特に課題はない |

③活動への住民の参加状況での課題 (○印は3つまで)

- | | |
|--------------------------|------------------------|
| 1. 活動・催しへの参加者が少ない | 4. 特に参加してほしい年代層の参加が少ない |
| 2. 参加する人の顔ぶれがいつも同じである | 5. その他 () |
| 3. 共同住宅(マンション等)からの参加が少ない | 6. 特に課題はない |

問17 貴団体は、他の団体と行事や情報交換などの連携をしていますか。既に連携している団体と、今後新たに連携したい団体を、それぞれお聞かせください。（○印はいくつでも）

連携先となる団体	既に連携している団体	新たに連携したい団体
(記入例) 自治会	1	①
①自治会	1	1
②他の婦人会	2	2
③ふれあいのまちづくり協議会（小学校単位のまちづくり組織）	3	3
④まちづくり協議会（特定エリアのまちづくり組織）	4	4
⑤防災福祉コミュニティ	5	5
⑥青少年育成協議会	6	6
⑦老人クラブ	7	7
⑧子ども会	8	8
⑨ P T A	9	9
⑩民生委員・児童委員	10	10
⑪社会福祉協議会、あんしんすこやかセンター、地域の福祉事業所	11	11
⑫小学校、中学校、高等学校、大学、専門学校	12	12
⑬公民館、児童館等の公共施設	13	13
⑭ N P O、ボランティア団体	14	14
⑮地域の企業・事業者・商店など	15	15
⑯既存の団体に参加していない個人	16	16
⑰その他（ ）	17	17
⑱現在特に連携していない/今後新たに連携する予定はない	18	18

問18 貴団体が、これまで他の団体と連携して取り組んだことの概要をお聞かせください。

	連携先	連携内容、発揮された強み（貴団体、連携先団体）
事例 1		
事例 2		
事例 3		

問19 貴団体が、自治会やふれあいのまちづくり協議会、NPO 法人等、他の団体と今後連携して取り組みたいことがあれば、アイデアをお聞かせください。

	連携したい相手	連携して実現したいこと
連携 1		
連携 2		
連携 3		

2. 貴団体が活動している地域の状況等について

問20 貴団体の活動している地域（小学校区）をお聞かせください。

() 小学校区 ※複数校区が該当する場合は複数記入可
※小学校区が分からない場合 ()
(記入例：(◆◆区●●町▲丁目～■丁目))

問21 貴団体の活動している地域はどのようなまちでしょうか。次の①・②について、それぞれご回答ください。

①住民の居住年数の特徴（○印は1つ）

1. 比較的長く住んでいる人が多い 2. 住民の入れ替わりが多い 3. わからない

②住民同士の交流（○印は1つ）

1. とても活発 2. やや活発 3. あまり活発でない 4. 活発でない 5. わからない

問22 貴団体の活動している地域では、住民による地域活動が活発に行われていますか（○印は1つ）

1. 以前からとても活発である } 問23へ
2. 以前に比べると活発になりつつある }
3. 以前に比べるとあまり活発ではない → 問24へ
4. わからない → 問25へ

問23 活発になっている理由は何だと思われますか。（○印は3つまで）

1. 住民の地域活動に対する意識・関心が高いから
2. 住民が地域活動の運営に協力的だから
3. 地域活動を必要とする人（例：子ども、高齢者など）が地域に多いから
4. 住民にとって魅力的な地域活動になるよう工夫されているから
5. 活動の中心的な役割を担う人材がいるから
6. 大学、専門家など外部からの協力・支援があるから
7. 行政からの支援があるから
8. その他 ()

問24 以前に比べて活発でなくなった理由は何だと思われますか。（○印は3つまで）

1. 住民の地域活動に対する意識・関心が低いから
2. 住民が地域活動の運営に協力的でないから
3. 地域活動を必要とする人（例：子ども、高齢者など）が地域に少ないから
4. 住民にとって地域活動の内容があまり魅力的でないから
5. 活動の中心的な役割を担う人材が少ないから
6. 大学、専門家など外部からの協力・支援がないから
7. 行政からの支援が少ないから
8. その他 ()

問25 貴団体の活動している地域には、特にどのような課題があると思いますか。(○印は5つまで)

- | | |
|------------------------------------|-----------------------------------|
| 1. 住民のつながりの希薄化や孤立 | 10. 管理の行き届いていない空家・空地の増加 |
| 2. 一人暮らし高齢者や高齢者のみ世帯の増加 | 11. 生活ルールの共有（ゴミ出しルールなど） |
| 3. 若者世代や子育て世代の減少・流出 | 12. 公共交通の利便性の低下 |
| 4. 子どもの遊び場の不足 | 13. 買い物利便性の低下 |
| 5. 子育て環境の充実 | 14. 地域の歴史や伝統、文化の継承 |
| 6. 交通事故の発生、自転車のマナーの改善 | 15. 地域産業の活性化
(農林漁業、ものづくり、観光など) |
| 7. 防災への備え（高齢者等の避難誘導など） | 16. 在住外国人との交流・共生 |
| 8. 防犯への備え（ひったくり、登下校の安全確保、夜道の明るさなど） | 17. 環境保全活動（里山保全など） |
| 9. 地域の美化（ペットのマナーの向上、ポイ捨て、落書きなど） | 18. その他
() |

問26 問25の課題を解決していくために、今後どのようなことに、今よりもっと力を入れて取り組むことが必要と思われますか。(○印は5つまで)

1. 住民どうしのふれあいや交流を活発にする活動（居場所づくり、イベント、多文化共生など）
2. 子どもたちが健やかに育つ地域にする活動（子どもの遊び場、子ども食堂、青少年育成など）
3. 妊婦、乳幼児とその保護者を支援する活動（子育てサロン、親子サークルなど）
4. 高齢者や障がい者の安心を支援する活動（見守り活動、食事会など）
5. 助け合い活動（電球交換、買い物支援、移動支援等）
6. 健康づくりの活動（ウォーキングや体操など）
7. 気軽に文化に親しめる活動（音楽、芸術など）
8. 自然を大切にしたり、花や緑を増やす活動（季節感のある広葉樹を増やす、河川清掃など）
9. まちの美化活動（ペットのマナーの向上、ポイ捨て禁止など）
10. 歴史や伝統、文化を継承する活動
11. 地域の産業（農林漁業、ものづくり、商店街、観光など）を活性化する活動
12. 防犯活動（ひったくり、子どもの安全、防犯灯、詐欺被害防止など）
13. 災害に備えた自主防災活動（避難訓練、独居の方の緊急連絡先の把握など）
14. 交通安全活動（登下校の見守り、自転車のマナー向上、路上駐車対策など）
15. まちの基盤となる道路や公園などの整備に関する活動
16. 空き地・空き家対策に関する活動
17. 生活環境の改善・保全などを目的としたルールづくりに関する活動
18. その他 ()
19. 特にない
20. わからない

問27 あなたは、貴団体の活動の現状について、どのようにお考えですか。(○印は1つ)

- | | |
|---------------------|------------|
| 1. 活発に活動しており満足している | 3. 満足していない |
| 2. 課題もあるがまあまあ満足している | 4. わからない |

問28 あなたは、貴団体が担う役割は今後どうなると思われますか。(○印は1つ)

- | | | |
|--------------|--------------|----------|
| 1. ますます大きくなる | 3. 現在より小さくなる | 5. わからない |
| 2. あまり変わらない | 4. 役割を終える | |

問29 貴団体の活動を活発にしていくために、必要なことをお聞かせください。(○印は3つまで)

- | | |
|-------------------------|-----------------------|
| 1. 地域課題についての情報・データを共有する | 7. 他の団体と連携・協力した活動を増やす |
| 2. 地域の課題を自由に話せる場・機会を増やす | 8. 他地域での活動事例を学ぶ |
| 3. 地域活動についての広報活動を充実する | 9. 地域活動の活動財源を増やす |
| 4. 地域活動のリーダーを育てる | 10. その他 () |
| 5. 活動への参加をよびかける(誘う) | 11. 特になし |
| 6. 活動の分担を工夫する(上手く分かち合う) | 12. わからない |

問30 貴団体の活動の活発化や運営負担の軽減のために工夫されていること、コロナ禍において新たに取組まれたことをお聞かせください。

問31 貴団体が市に相談したいことや、支援を希望することをお聞かせください。(○印はいくつでも)

- | | |
|--------------------------|-----------------------------|
| 1. 事業計画の作成 | 8. 婦人会に加入していない人も活動に参加できる仕組み |
| 2. 活動事例の紹介 | 9. 婦人会への加入促進 |
| 3. 活動先・連携先のマッチング | 10. デジタル技術の活用 |
| 4. イベントなどの企画・運営・集客 | 11. 会計・税務 |
| 5. 広報・情報発信(ホームページ、SNSなど) | 12. 人事・労務 |
| 6. 資金確保(寄附・助成金等) | 13. その他 () |
| 7. 組織運営・人材育成 | 14. 特に相談したいことはない |

問32 あなたが、日頃の婦人会活動を通じて感じておられる課題や、ご意見をお聞かせください。

3. あなたご自身の活動状況について

問33 貴団体における代表の選出方法はどのような方法ですか。(○印は1つ)

1. 自薦・他薦 2. 持ち回り制 3. 選挙(投票) 4. くじ引き 5. その他()

問34 貴団体では、代表の任期や定年の定めがありますか。(○印はいくつでも)

1. 任期の定めがある(例:連続2期まで) 2. 定年の定めがある 3. 特に定めはない

問35 あなたが、代表になってからの年数をお聞かせください。(令和4年10月1日時点)

約()年()か月

問36 貴団体での次期代表の確保について、見通しをお聞かせください。(○印は1つ)

1. 後継者(次期代表)を確保できると思う 3. わからない
2. 後継者(次期代表)を確保することは難しいと考えている

問37 あなたが、地域活動の担い手として参加したきっかけをお聞かせください。(○印はいくつでも)

1. 自分が住んでいる地域を良くしたいと思ったから 4. 知り合いに誘われたから
2. 家族が地域活動に参加していたから 5. 役員・班長の順番が回ってきたため
3. 以前住んでいた地域で地域活動に関わっていたから 6. その他()

問38 あなたが、地域活動に参加してよかったと思うことをお聞かせください。(○印は3つまで)

1. 近隣の知り合いが増える 5. 行政に対して意見・提案を伝えやすい
2. 地域の様々な情報が入手できる 6. 地域の人に喜んでもらえることがあった
3. 困ったことや問題が起こった時に相談しやすい 7. その他()
4. 地域の活動について意見・提案ができる 8. 特にない

問39 あなたは、婦人会をはじめ地域活動のために、月間何日ぐらい活動していますか。(数字を記入)

月間()日ぐらい ※最大値を31日としてください

(丸々1日ではなくても、会合への出席など1日の間に少しでも活動があれば1日として数えてください。)

問40 あなたは、会長として、特にどのようなことに負担を感じていますか。(○印は3つまで)

1. 活動に要する時間の負担 6. 個人情報保護などの社会ルールへの対応
2. 個人の金銭面の負担 7. 婦人会への加入の呼びかけ
3. 責任が重い 8. 各種委員会への婦人会員の推薦
4. 苦情・要望への対応の負担 9. 行政からの研修や行事への参加要請対応
5. 後継者や役員が確保しにくい 10. その他()

問41 貴団体の今後のあり方について、あなたのお考えをお聞かせください。(○印は1つ)

1. 想定している後継人材（候補者）に組織を継承していきたい
2. 今後、後継人材を確保し、組織を継承していきたい
3. 同様の活動をしている団体に、活動を継承していきたい
4. 後継人材が見つからなければ、組織・活動は廃止してもよい
5. 将来のあり方は考えていない
6. その他（)

4. あなたご自身のことについて

問42 あなたご自身のことについてお聞かせください。(それぞれ○印は1つ)

①年代	1. 20代以下 3. 40代 5. 60代 7. 80代以上 2. 30代 4. 50代 6. 70代
②現在の地域（小学校区）での居住年数	1. 2年未満 3. 5年～10年未満 5. 20年～30年未満 2. 2年～5年未満 4. 10年～20年未満 6. 30年以上
③就業状況	1. 常勤雇用（役員を含む） 4. 家事専業 2. 非常勤雇用（パートなど） 5. 無職 3. 自営業・自由業 6. その他（)
④インターネット検索	1. よく利用する 2. あまり利用しない 3. 利用しない
⑤SNSの利用 ※1	1. よく利用する 2. あまり利用しない 3. 利用しない
⑥インターネット会議※2	1. よく利用する 2. あまり利用しない 3. 利用しない

※1 SNS LINE、ツイッター、フェイスブック、インスタグラムなど

※2 インターネット会議 Zoom、Microsoft Teams、Google Meet など

ご協力ありがとうございました。

11月11日（金）までにお近くのポストに投函してください（切手不要）

■ **令和4年度 神戸市内地域組織基礎調査**

婦人会 調査結果報告書

(連絡先)

神戸市地域協働局地域活性課 (地域コミュニティ担当)

電話 : 078-322-5170 (内線 2262) FAX : 078-322-6133

電子メール community@office.city.kobe.lg.jp

(調査委託先) 三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社